官報

昭和十年三月四日
第二千四百四十八號　月曜日

軍令

朕關東州、滿洲國又ハ支那ニ在ル臨時編成部隊ニ屬スル陸軍軍人ノ休暇ニ關スル件ヲ制定シ之カ施行ヲ命ス

御名　御璽

昭和十年三月一日

陸軍大臣　林　銑十郎

軍令陸第一號

關東州、滿洲國又ハ支那ニ在ル臨時編成部隊ニ屬スル陸軍軍人ニ對シテハ當分ノ內特ニ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ休暇ヲ許與スルコトヲ得

本令ニ依リ休暇ヲ許與セラレタル者ハ其ノ地ヨリ內地、朝鮮、臺灣又ハ樺太相互間ノ旅行ヲ爲スコトヲ得

省令

◎外務省令第四號

外交官、領事官及書記生任用令第九條第二項ニ依リ外務省留學生規程ヲ左ノ通定ム

昭和十年三月四日

外務大臣　廣田　弘毅

外務省留學生規程

第一條　外務省留學生ハ外務大臣ニ於テ必要ト認ムル外國語講習ノ爲外國ニ留學セシムルモノトス

第二條　外務省留學生ハ留學地ノ國語講習ノ外英、佛二國語中ノ一ヲ兼修セシムルコトヲ得

第三條　外務大臣ハ外交官、領事官又ハ貿易事務官ニ留學生ノ監督ヲ命シ留學中其ノ行爲ヲ監督セシム

監督官ハ事情ニ依リ其ノ指定スル場所ニ留學生ヲ居住セシメ且適當ノ場所ニ於テ一定ノ日課ヲ學習セシムルコトヲ得

第四條　監督官ハ六月毎ニ留學生ノ試驗ヲ行ヒ其ノ成績ヲ外務大臣ニ報告スベシ

第五條　外務省留學生ハ留學地ニ到著ノ日ヨリ滿三年ヲ以テ卒業スルモノトス但シ外務大臣ニ於テ特ニ必要アリト認メタルトキハ滿二年以內之ヲ延長スルコトヲ得

監督官ノ具申ニ依リ語學上達セリト認メラルル者ハ前項ノ期間ニ拘ラズ特ニ卒業ト認ムルコトアルベシ

第六條　疾病又ハ已ムヲ得ザル事故ノ爲前條ノ期限ニ於テ卒業スルコトヲ得ザルトキハ特ニ其ノ期限ヲ猶豫スルコトアルベシ

猶豫期限ヲ過ギ尙卒業スルコトヲ得ザルトキハ留學生ヲ免ズ

第七條　疾病、怠慢、不品行又ハ其ノ他ノ理由ニ依リ卒業ノ見込ナシト認ムルトキハ留學生ヲ免ズ

第八條　外務省留學生ハ本規程ニ依ル試驗ニ合格シタル者ノ中ヨリ之ヲ採用ス試驗合格ノ有效期間ハ六月トス

支那ニ在ル學校ニシテ外務大臣ノ指定シタルモノノ卒業者ハ前項ノ規定ニ拘ラズ外務省普通試驗委員ノ考査ヲ經テ外務省留學生ヲ命ジ支那ニ限リ留學セシムルコトヲ得第十條ノ規定ハ此ノ場合ニ之ヲ準用ス

第九條　外務省留學生ハ身元正シク相當ノ財產アル保證人二名ヲ立ツルコトヲ要ス

保證書ハ別記丙號雛形ニ依ル

保證人ニ破產、死亡其ノ他保證人ニ適セザル事故ノ生ジタルトキハ更ニ他ノ保證人ヲ立ツベシ

第十條　外務省留學生ハ留學生試驗出願ノ時年齡滿十八年以上滿二十五年以下ニシテ左ノ諸項ノ一ニ該當セザル者ニ限ル

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　破產者ニシテ復權ヲ得ザルモノ

三　第十八條第一項ノ規定ニ該當シ情狀重大ナル者

第十一條　外務省留學生ヲ志願セントスル者ハ別記甲號雛形ニ依リ調製シタル願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ指定ノ期日迄ニ外務省普通試驗委員長ニ差出スベシ

一　履歷書(別記乙號雛形ニ依ル)

二　各自ノ講習志望語又ハ英、佛二國語中ノ一ヲ以テ起草シタル作文但シ受驗者ノ願ニ依リ獨語、露語、西班牙語、葡萄牙語又ハ支那語ノ中ノ一ヲ以テ之ニ代フルコトアルベシ

三　第十條第一號及第二號ニ該當セザル旨ノ市區町村長ノ證明書

四　第十四條ノ受驗資格ニ關スル證明書

五　現ニ官公署ニ奉職中ノ者ニシテ判任官又ハ之ト同等以上ノモノハ所屬長ノ受驗許可書

六　出願前一年內ニ撮影シタル手札形寫眞(裏面ニ撮影年月日及氏名ヲ自署スベシ)

前項ノ書類中願書、履歷書及作文ハ志願者ノ自筆タルコトヲ要ス

留學生募集ハ其ノ講習スベキ國語ヲ定メ作文課題及願書提出締切期日ト共ニ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第十二條　外務省留學生ヲ志願セントスル者ハ受驗手數料トシテ金壹圓ヲ納ムベシ右手數料ハ收入印紙ヲ用ヒ願書ニ貼付スベシ但シ消印スベカラズ

第十三條　第十四條第二項ニ依リ召集セラレタル者ノ志願書及添附書類竝ニ受驗手數料ハ之ヲ還付セズ

第十四條　外務省留學生志願者ハ中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者、文部大臣ニ於テ普通教育ニ關シ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト定メタル者、普通試驗委員ニ於テ普通教育ニ關シ中學校ト同等以上ト認ムル外國ノ學校ヲ卒業シタル者及高等試驗令第七條ノ試驗ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

外務省普通試驗委員ハ第十一條ニ規定シタル書類ニ基キ適當ト認メタル志願者ヲ召集シテ試驗ヲ行フ

外務大臣ハ必要ニ應ジ臨時試驗委員ヲ命ズルコトヲ得

第十五條　外務省留學生試驗ヲ分チテ第一次試驗及第二次試驗トシ第一次試驗合格者ニ對シ體格檢査ヲ行フ

第一次試驗及體格檢査ニ合格シタル者ニ非ザレバ第二次試驗ヲ受クルコトヲ得ズ

第十六條　第一次試驗ハ筆記トシ左ノ科目ニ付之ヲ行フ

一　邦語作文

二　外國語(和文外國語譯、外國文和譯及書取)

(前記外國語ハ第十一條ノ作文ニ用ヒタルモノトス)

三　法學通論

四　國際公法大意

第2448号　本文

本文

五　經濟學大意
六　第十九世紀以降ノ世界歷史

第十七條　第二次試驗ハ口述トシ左ノ科目ニ付之ヲ行フ
一　外國語會話（第一次試驗ニ選擇シタル外國語）
二　國際公法大意
三　經濟學大意

第十八條　不正ノ方法ニ依リ試驗ヲ受ケントシタル者又ハ試驗ニ關スル規定ニ違反シタル者ニ對シテハ其ノ試驗ヲ停止シ之ヲ無效トス
試驗合格決定後右ノ事實發覺シタルトキハ其ノ合格ヲ無效トス

第十九條　試驗合格者ヲ定ムル方法ハ試驗委員ノ議定スル所ニ依ル

第二十條　外務省留學生ヲ命ゼラレタル者ハ疾病又ハ已ムヲ得ザル事故ノ爲許可ヲ得タルモノノ外留學ノ命令ヲ受ケタル日ヨリ四週間以內ニ出發スベシ

第二十一條　外務省留學生ニハ外國留學中學資金トシテ一年ニ付南北亞米利加ニ於テハ三千四百圓以內、歐羅巴、亞弗利加、太洋洲竝ニ支那及西比利亞以外ノ亞細亞ニ於テハ三千圓以內、支那又西比利亞ニ於テハ千八百圓以內ヲ支給ス
當分ノ內南北亞米利加、歐羅巴、亞弗利加又ハ西比利亞中特別ノ事情アル地ニ留學スル者ニ限リ前項學資金ノ外一年ニ付六百圓以內ヲ增給スルコトヲ得

第二十二條　前條ノ學資支給方ハ總テ明治二十六年勅令第百七十一號在外公館費用條例ニ規定スル在勤俸ノ例ニ依ル
在外學校委託學生ニシテ當該學校所在地到著前、休學歸朝中又ハ退學後ノ期間ニ對シ學資ノ納入ヲ要スルトキハ之ヲ學資金トシテ支給スルコトヲ得

第二十三條　外務省留學生ハ外國留學地往返其ノ他外務大臣ノ命ニ依リ旅行スルトキハ其ノ旅行中ノ一切ノ費用ニ充ツル爲旅費ヲ支給ス
前項ノ規定ニ依リ旅費ヲ支給スル期間ハ學資金ヲ支給セズ

第二十四條　旅費ハ支度料、鐵道賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料及食卓料ノ七種トシ大正十三年六月外務省令第二號外務省待遇官吏以下外國旅費規則及同年六月外務省令第三號外務省待遇官吏以下南洋群島、關東州、南滿洲旅費規則中別表甲額ニ依ル

第二十五條　外務省留學生修學ノ爲巡歷ヲ要スル場合ニ於テ豫メ外務大臣ノ許可ヲ受ケタルトキハ第二十三條ノ規定ニ準ジ旅費ヲ支給スルコトヲ得

第二十六條　旅費ノ支給方ニ關シ本令ニ規定スルモノノ外內國旅費規則、外國旅費規則及南洋群島、關東州、南滿洲旅費規則ヲ準用ス

第二十七條　外國旅費規則及南洋群島、關東州、南滿洲旅費規則中死亡手當ニ關スル規定ハ外務省留學生ニ付之ヲ準用ス
前項ノ適用ニ付テハ大正十三年六月外務省令第二號外務省待遇官吏以下外國旅費規則及同年六月外務省令第三號外務省待遇官吏以下南洋群島、關東州、南滿洲旅費規則中別表ニ定ムル甲額トス

第二十八條　左ノ場合ニ於テハ支給シタル學資及旅費ヲ本人又ハ保證人ヨリ償還セシムベシ
一　留學中怠慢又ハ不品行ニシテ留學生ヲ免ゼラレタルトキ
二　自己ノ都合ニ依リ外務省留學生ヲ免ゼラレタル者
三　任官後五年以內ニ於テ退官シタルトキ但シ疾病ニ依リ外務大臣ニ於テ其ノ職ニ堪エズト認メタル場合又ハ官廳事務ノ都合ニ依リ退官シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
明治三十六年七月外務省令第一號ハ本令施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

別記

甲號雛形（用紙美濃紙）

外務省留學生志願書

印紙

私儀何語講習（第二志望講習語何々）ノ外務省留學生志願ニ付試驗ノ上御採用相成度此段相願候也

年　月　日

本籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地（何某方）
本人　氏　名㊞

本籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地
本人トノ身分關係
保證人　氏　名㊞

外務省普通試驗委員長宛

乙號雛形（用紙美濃紙）

履歷書

本籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地（何某方）
族稱　戶主又ハ何某何男
氏　名
生年月日 滿何年何月

學　事
一、何年何月ヨリ何地何某ニ就キ何學科ヲ修業
科目大略何々
一、何年何月ヨリ何地官公私立何學校ニ入リ何學科ヲ修業何年何月卒業

職　業
一、何年何月ヨリ何地何會社又ハ何某ニ雇ハレ給料何圓何々ノ業務ニ從事シ何年何月解雇又ハ辭職
一、何年何月何官廳ニ於テ何々拜命何々歷任等

一　兵役關係
何年檢査、何種合格、何々兵役等
一　賞　罰

右ノ通
年　月　日
氏　名㊞

丙號雛形（用紙美濃紙）

保證書

收入印紙

私儀今般外務省留學生ヲ命ゼラレ候ニ付テハ外務省留學生規程ヲ遵守シ萬一同規程第十八條及第二十八條ニ依リ學資及旅費ノ償還ヲ命ゼラレタル場合ニハ本人又ハ保證人ニ於テ速ニ悉皆償還可致候也

年　月　日

本籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地（何某方）
本人　氏　名㊞
職業

本籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地
職業
保證人　氏　名㊞

本籍　何府縣郡市町村何番地
現住所　何府縣郡市町村何番地
職業
保證人　氏　名㊞

外務大臣宛

（參照）
明治三十六年七月十一日外務省令第一號ハ本號ト同件ナリ

◎內務省令第七號

熊本都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十年三月四日　內務大臣　後藤　文夫

熊本都市計畫事業道路新設擴築受益者負擔ニ關スル件

第一條　熊本市長ハ都市計畫事業トシテ其ノ執行スベキ道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ本令ノ定ムル所ニ依リ受益者ヲシテ負擔セシムベシ

第二條　本令ニ於テ受益者ト稱スルハ大正九年內務省令第二十八號ニ拘ラズ第三條ノ負擔區劃內ニ在ル土地ニ付左ニ揭グル者ヲ謂フ
一　有租地ノ所有者、質權者、永小作人、地上權者、賃借人、使用借主及轉借人但シ永小作人、地上權者、賃借人、使用借主及轉借人ニ付テハ其ノ權利ノ存續期間十年（事業著手前ニ設定セラレタル權利ノ存續期間ハ事業著手ノ日ヨリ起算ス）ヨリ長キモノニ限ル
二　無租地ニ付左ニ揭グル者但シ一時的ノモノヲ除ク
イ　地租法第二條及地租法以外ノ法令ノ規定ニ依ル無租地（保安林ヲ除ク）ノ本來ノ用途ニ反スト認ムル方法ニ依リ其ノ使用收益ヲ爲シ又ハ其ノ權利ヲ設定シタル所有者及其ノ權利ヲ有スル者
ロ　イ以外ノ無租地ノ永小作人、地上權者、賃借人、使用借主、轉借人及占用權者

第三條　負擔區劃ハ道路ノ周圍ニ於テ其ノ境界線（街角ヲ剪除シタル部分ニ在リテハ其ノ剪除セザル部分ノ道路境界線ヲ延長シタル線）ヨリ道路（道路ノ一部ヲ成ス廣場ニ在リテハ之ニ接續スル幅員最モ大ナル道路）ノ幅員ノ五倍ノ地域トス
土地ノ狀況ニ依リ前項ノ負擔區劃ヲ擴張スル必要アリト認ムルトキハ前項ノ道路幅員ノ十倍以內ニ於テ內務大臣之ヲ決定ス
第四條第四項ノ事業費ノ負擔ニ付テハ前二項ノ規定ニ拘ラズ內務大臣ハ別ニ負擔區劃ヲ定ムルコトヲ得

第四條　前條ノ負擔區劃內ノ受益者負擔額ハ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ三分ノ一、道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ四分ノ一トス但シ前條第二項ノ場合ニ於テ道路新設ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ五、道路擴築ノ場合ハ其ノ事業費ノ十分ノ四以內ニ於テ內務大臣之ヲ決定スルコトヲ得
道路擴築ノ場合ニ於テ其ノ擴築道路ノ地積ガ其ノ敷地內ニ在ル舊道路ノ地積ノ三倍以上トナルトキハ前項ノ適用ニ關シテハ之ヲ道路新設ト看做ス
前項ノ地積ハ第五條第一項第一號ノ區分每ニ之ヲ計算ス
隧道、橋梁其ノ他特殊ノ工事又ハ特殊ノ物件ノ移轉ニシテ著シク多額ノ費用ヲ要スルモノアルトキハ其ノ費用ノ全部又ハ一部ヲ控除シタル額ヲ以テ第一項ノ事業費ト爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ控除スル額ハ市長之ヲ告示スベシ

第五條　各受益者ノ負擔金額ハ左記各號ニ依リ之ヲ定ム
一　各路線ヲ土地ノ狀況ニ依リ適當ニ區分シ其ノ區分ニ依リ第三條ノ負擔區劃ヲ一箇又ハ數箇ノ負擔區トシ該當區分內ノ事業費ニ付其ノ區ノ負擔額ヲ定ム
二　前號ノ負擔區ヲ利益ヲ受クル厚薄ニ依リ一箇又ハ數箇ノ地帶トシ各地帶ニ前號ノ負擔額ヲ一定ノ率ニ依リ配分ス
三　道路ニ接スル地帶內ノ土地ニ對シテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ノ半額ヲ其ノ道路ニ接スル部分又ハ間口ノ利用之ト同等ト認ムル部分ノ長ニ比例シ他ノ半額ヲ其ノ地積ニ比例シ其ノ他ノ地帶內ノ土地ニ對シテハ其ノ地帶ニ配分セラレタル負擔額ヲ其ノ地積ニ比例シテ配分ス
第三條第二項ノ規定ニ依リ負擔區劃ヲ定メタル場合ニ於テハ前項第三號ノ間口負擔ノ割合ヲ三分ノ一迄低下シ其ノ殘額ヲ地積ニ比例シ各當該土地ノ受益者ノ負擔金額ヲ定ムルコトヲ得
第二條第二號ノ受益者ニ對シテハ前二項ノ規定ニ依ル負擔金額ノ範圍內ニ於テ市長ハ別ニ其ノ負擔スベキ金額ヲ定ムルコトヲ得
同一ノ土地ニ付二以上ノ受益者アル場合ニ於テハ前三項ノ規定ニ依ル負擔金額ハ市長ノ定ムル分擔割合ニ依リ各受益者之ヲ分擔ス
第一項第一號ノ負擔區、第二號ノ地帶及率、第二項ノ規定ニ依リ定メタル間口負擔ノ割合、第三項ノ規定ニ依リ定メタル金額、前項ノ規定ニ依ル分擔割合ハ市長之ヲ告示スベシ

第六條　河川、運河、鐵道、新設軌道、崖地等ニシテ著シク土地ノ利用ヲ區分スベキ地物ガ第三條第一項、第二項ノ地域內ニ在ルトキハ之ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス
同等以上ノ效用アリト認ムル竝行道路ガ第三條第一項、第二項ノ負擔區劃ノ二倍ノ地域內ニ在ルトキハ其ノ道路トノ間隔ノ中央線ヲ以テ負擔區劃ノ限界トス但シ其ノ間隔內ニ前項ノ地物アルトキハ前項ノ例ニ依ル
前二項ノ場合ニ於ケル各受益者ノ負擔金ノ算定ニ付テハ負擔區劃ノ限界ナキモノト看做ス

第七條　負擔金ハ其ノ負擔區ノ事業著手ノ日ノ現在ニ依ル受益者ヨリ之ヲ納付セシム
前項ノ事業著手ノ日ハ市長之ヲ告示スベシ
各受益者ノ負擔金額ヲ決定シタルトキハ市長之ヲ受益者ニ通知スベシ

第八條　市長ハ各受益者ヲシテ市長ノ相當ト認ムル擔保ヲ提供セシメ且利子ニ相當スル增負擔金ヲ納付セシメ前條第三項決定通知ノ日ヨリ五年ヲ超エザル期間ニ於テ負擔金ノ分割延納ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條　負擔金ハ事業費豫算額ニ依リ算出ス
前項ノ負擔金額ガ事業費精算額ニ依リ算出シタル各受益者ノ負擔金額ニ比シ超過スルトキハ之ヲ還付シ不足スルトキハ之ヲ追徵ス但シ市長ニ於テ大差ナシト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
第一項ノ事業費豫算額及前項ノ事業費精算額ハ市長之ヲ告示スベシ

第十條　左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ負擔金ヲ減免スルコトヲ得但シ第二號及第三號ノ場合ニ於ケル減免額ハ其ノ寄附額、工事費額又ハ提供額ヲ超ユルコトヲ得ズ
一　都市計畫法又ハ道路法ノ規定ニ依リ道路ノ新設若ハ擴築又ハ路面改良ニ要スル費用ヲ著シク利益ヲ受クルニ依リ負擔スベキ關係ニ該當シタル土地ガ其ノ事業著手ノ日ヨリ五年以內ニ更ニ本令ニ依ル負擔金ヲ課セラルベキ關係ニ該當シタルトキ
二　道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル費用ヲ補足スル爲土地、物件、勞力若ハ金錢ヲ寄附シ又ハ市長ガ適當ト認ムル工法ニ依リ工事ヲ施行シテ寄附シタル者アルトキ
三　道路ノ新設又ハ擴築ニ要スル土地ヲ土地區劃整理ノ施行ニ依リ無償ニテ國若ハ公共團體ノ所有地ニ編入シ又ハ無償ニテ提供シタルトキ
四　土地ノ狀況ニ依リ市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ
五　左ノ土地ニ付其ノ受益者ノ申請ニ依リ必要アリト認ムルトキ
イ　國、府縣、市町村其ノ他ノ公共團體ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地

第2448号 本文

第2448号 本文

ロ 神社寺院祠宇佛堂ノ境内地、教會所説教所ノ構内地及私立學校用地免租ニ關スル法律第一條ニ掲グルモノノ用ニ供スル土地

ハ 都市計畫法第十六條第一項ノ土地

ニ 市街地建築物法第二十六條第二項ノ道路ノ境域内ニ在ル土地

前項第二號及第三號ノ寄附額又ハ提供額ハ市長之ヲ評定シ第四條ノ事業費ニ算入ス

第十一條 本令施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（參照）
大正九年九月六日 内務省令第二十八號ハ都市計畫法施行令第九條第四號ノ規定ニ依ル指定ノ件ナリ

◎司法省令第六號

大正二年司法省令第十一號中左ノ通改正ス

別表登記管轄區域表中鳥取地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

鳥取			鳥取縣ノ内 鳥取市 岩美郡ノ内 米里村 倉田村 面影村 津ノ井村 稲部村 宇倍野村大字奥谷、宮下、町屋、美數、廳、中郷、國分寺 氣高郡ノ内 小田村大字唐川 美穗村 大正村 東郷村 湖山村 賀露村 千代水村
		中河原	鳥取縣ノ内 岩美郡ノ内 成器村 大茅村 宇倍野村大字麻生、高岡、糸谷、谷、神垣、廣西、玉鉾、岡益、清水、山根
		岩井	鳥取縣ノ内 岩美郡ノ内 岩井町 大岩村 本庄村 網代村 浦富町 田後村 東村 蒲生村 小田村大字岩常、高住、長郷、院内、荒金、黒谷、池谷、延興寺、外邑、小田、大阪
		吉岡	鳥取縣ノ内 氣高郡ノ内 吉岡村 豐實村 明治村 松保村 大郷村 末恒村
		鹿野	鳥取縣ノ内 氣高郡ノ内 鹿野町 寶木村 酒津村 瑞穗村 逢坂村 小鷲河村 勝谷村 正條村大字濱村、勝見、八幡、下原
鳥取	鳥取	青谷	鳥取縣ノ内 氣高郡ノ内 青谷町 日置村 日置谷村 中郷村 勝部村 正條村大字八束水
		河原	鳥取縣ノ内 八頭郡ノ内 河原町 國英村 八上村 西郷村 散岐村 氣高郡ノ内 神戸村 大和村
		郡家	鳥取縣ノ内 八頭郡ノ内 賀茂村 國中村 船岡村 大伊村 上私都村 中私都村 下私都村
		若櫻	鳥取縣ノ内 八頭郡ノ内 若櫻町 池田村 丹比村大字用呂、日田
		安部	鳥取縣ノ内 八頭郡ノ内 安部村 大御門村 隼村 八東村 丹比村大字德丸、重枝、島、南、北山、富枝、志谷、中、稗谷、横地、妻鹿野
		用瀨	鳥取縣ノ内 八頭郡ノ内 用瀨町 大村 佐治村 社村
		智頭	鳥取縣ノ内 八頭郡ノ内 智頭町 山郷村 富澤村
			鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 倉吉町 西郷村 日下村 竹田村 小鴨村 北谷村 高城村 社村 灘手村 上北條村
		下郷	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 下郷村 市勢村 伊勢崎村 上郷村 古布庄村
		赤碕	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 赤碕町 逢束村 八橋町 成美村 以西村 安田村 上中山村 下中山村

	倉吉	三朝	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 三朝村 三德村 小鹿村 旭村
		松崎	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 松崎村 舍人村 東郷村 花見村 泊村大字泊、小濱、筒地、石脇、園、原
		橋津	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 橋津村 長瀬村 宇野村 淺津村 中北條村 泊村大字宇谷
		關金	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 矢送村 上小鴨村 南谷村 山守村
		由良	鳥取縣ノ内 東伯郡ノ内 由良町 下北條村 榮村 大誠村
	米子		鳥取縣ノ内 米子市 西伯郡ノ内 住吉村 彦名村 加茂村 福米村 福生村 車尾村 成實村 尚德村 五千石村 幡郷村
		尾高	鳥取縣ノ内 西伯郡ノ内 大高村 大幡村 縣村 春日村 巖村 日吉津村 大和村
		境	鳥取縣ノ内 西伯郡ノ内 境町 渡村 外江村 上道村 餘子村
		淀江	鳥取縣ノ内 西伯郡ノ内 淀江町 宇田川村 高麗村 所子村 大山村
		御來屋	鳥取縣ノ内 西伯郡ノ内 御來屋町 庄内村 名和村 光德村 逢阪村
		大篠津	鳥取縣ノ内 西伯郡ノ内 大篠津村 崎津村 中濱村 和田村 富益村 夜見村
		法勝寺	鳥取縣ノ内 西伯郡ノ内 法勝寺村 天津村 大國村 上長田村 東長田村 手間村 賀野村大字萩名、市山、淺井、高姫、井上、御内谷、金田、朝金
		溝口	鳥取縣ノ内 日野郡ノ内 溝口町 二部村 八郷村 日光村 西伯郡ノ内 賀野村大字池野、鶴田
		黒坂	鳥取縣ノ内 日野郡ノ内 黒坂村 大宮村 石見村大字神戸上、花口
		矢戸	鳥取縣ノ内 日野郡ノ内 日野上村 阿毘緣村 山上村 多里村 福榮村 石見村大字上石見、中石見、下石見、三吉
		根雨	鳥取縣ノ内 日野郡ノ内 根雨町 日野村 神奈川村 江尾村 米澤村

同表中松江地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

松江			島根縣ノ内 松江市 八束郡ノ内 法吉村 生馬村 講武村 御津村 大蘆村 加賀村 持田村 川津村 朝酌村 竹矢村 出雲郷村 揖屋町 意東村 岩坂村 熊野村 大庭村 乃木村 忌部村 玉湯村
		宍道	島根縣ノ内 八束郡ノ内 宍道町 來待村
		本庄	島根縣ノ内 八束郡ノ内 本庄村 野波村 千酌村 片江村 美保關町 森山村 八束村

		名稱	管轄區域
		秋鹿	島根縣ノ内 八束郡ノ内 秋鹿村 伊野村 大野村 古江村 佐太村 惠曇村
		廣瀬	島根縣ノ内 能義郡ノ内 廣瀬町 飯梨村 能義村 比田村 布部村 山佐村
		安來	島根縣ノ内 能義郡ノ内 安來町 荒島村 赤江村 島田村 宇賀莊村
		母里	島根縣ノ内 能義郡ノ内 母里村 大塚村 安田村 井尻村 赤屋村
	木次		島根縣ノ内 大原郡ノ内 木次町 斐伊村 日登村 加茂町大字猪尾、大竹、岩倉、新宮、砂子原、延野、大崎、東谷、宇治、神原、南加茂、三代 飯石郡ノ内 一宮村 三刀屋町 鍋山村 飯石村
	木次	大東	島根縣ノ内 大原郡ノ内 大東町 春殖村 幡屋村 佐世村 阿用村 海潮村 加茂町大字加茂中、大西、近松、立原
	木次	三成	島根縣ノ内 仁多郡ノ内 三成村 布勢村 龜嵩村 阿井村 三澤村 溫泉村
	木次	横田	島根縣ノ内 仁多郡ノ内 横田村 鳥上村 八川村 馬木村
	木次	掛合	島根縣ノ内 飯石郡ノ内 掛合村 中野村 田井村 吉田村 多根村 松笠村 東須佐村 西須佐村 波多村
	木次	頓原	島根縣ノ内 飯石郡ノ内 頓原村 志々村 來島村 赤名町
	今市		島根縣ノ内 簸川郡ノ内 今市町 江南村 神西村 知井宮村 布智村 古志村 高松村 高濱村 四絡村 川跡村 大津村 鹽冶村 朝山村 稗原村 上津村
	今市	平田	島根縣ノ内 簸川郡ノ内 平田町 灘分村 國富村 鳶巣村 鰐淵村 西田村 北濱村 久多美村 佐香村 檜山村 東村
	今市	大社	島根縣ノ内 簸川郡ノ内 大社町 園村 荒木村 日御碕村 鵜鷺村 遙堪村 荒茅村
	今市	直江	島根縣ノ内 簸川郡ノ内 直江村 莊原村 出西村 伊波野村 久木村 出東村
	今市	乙立	島根縣ノ内 簸川郡ノ内 乙立村 窪田村
	今市	田岐	島根縣ノ内 簸川郡ノ内 田岐村 田儀村 西濱村 久村 山口村大字吉野、高津屋、上橋波、下橋波、佐津目
	今市	佐比賣	島根縣ノ内 安濃郡ノ内 佐比賣村 簸川郡ノ内 山口村大字山口
	今市	大田	島根縣ノ内 安濃郡ノ内 大田町 長久村 鳥井村 刺鹿村 波根西村 波根東村 朝山村 富山村 川合村
			島根縣ノ内 那賀郡ノ内 濱田町 石見村 上府村 下府村 國分村 美川村 周布村 長濱村 今福村大字佐野、宇津井
松江	濱田	江津	島根縣ノ内 那賀郡ノ内 江津町 都野津町 都濃村 渡津村 淺利村 都治村 黒松村 松川村 川平村
松江	濱田	有福	島根縣ノ内 那賀郡ノ内 有福村 川波村 二宮村 跡市村
松江	濱田	今市	島根縣ノ内 那賀郡ノ内 今市村 雲城村 木田村 和田村 都川村 波佐村 今福村大字今福、入野、追原、久佐
松江	濱田	杵束	島根縣ノ内 那賀郡ノ内 杵束村 安城村 黒澤村
松江	濱田	三隅	島根縣ノ内 那賀郡ノ内 三隅町 岡見村 三保村 井野村 大麻村
松江	益田		島根縣ノ内 美濃郡ノ内 益田町 安田村 鎌手村 種村 北仙道村 眞砂村 豐川村 高津町 吉田町
松江	益田	都茂	島根縣ノ内 美濃郡ノ内 都茂村 東仙道村 二川村
松江	益田	匹見	島根縣ノ内 美濃郡ノ内 匹見下村 道川村 匹見上村
松江	益田	豐田	島根縣ノ内 美濃郡ノ内 豐田村 高城村
松江	益田	中西	島根縣ノ内 美濃郡ノ内 中西村 二條村 美濃村 小野村
松江	益田	津和野	島根縣ノ内 鹿足郡ノ内 津和野町 畑迫村 木部村 小川村 柿木村
松江	益田	日原	島根縣ノ内 鹿足郡ノ内 日原村 青原村
		六日市	島根縣ノ内 鹿足郡ノ内 六日市村 七日市村 朝倉村 藏木村
	大森		島根縣ノ内 邇摩郡ノ内 大森町 水上村 大國村 仁万村 大屋村 久利村
	大森	井田	島根縣ノ内 邇摩郡ノ内 井田村 八代村 大家村 波積村
	大森	溫泉津	島根縣ノ内 邇摩郡ノ内 溫泉津町 福浦村 福光村 大濱村 湯里村 馬路村
	大森	五十猛	島根縣ノ内 邇摩郡ノ内 五十猛村 宅野村 靜間村
	大森	川本	島根縣ノ内 邑智郡ノ内 川本町 川越村 川下村 三原村 三谷村 祖式村 布施村大字布施、八色石
	大森	都賀	島根縣ノ内 邑智郡ノ内 都賀村 谷村 都賀行村 口羽村 阿須那村大字宇都井、今井 布施村大字村ノ郷、宮内、比敷
	大森	出羽	島根縣ノ内 邑智郡ノ内 出羽村 高原村 田所村 阿須那村大字阿須那、木須田、雪田、戸河内
	大森	濱原	島根縣ノ内 邑智郡ノ内 濱原村 吾郷村 粕淵村 澤谷村 君谷村
	大森	日貫	島根縣ノ内 邑智郡ノ内 日貫村 市木村 長谷村 市山村 日和村 川戸村 谷住鄕村
	大森	矢上	島根縣ノ内 邑智郡ノ内 矢上村 井原村 中野村

第2448号 本文

西郷		島根縣ノ内 周吉郡ノ内 西郷町 磯村 東郷村 布施村 中條村
	北方	島根縣ノ内 穩地郡ノ内 五箇村 周吉郡ノ内 中村
	都万	島根縣ノ内 穩地郡ノ内 都万村
	知夫	島根縣ノ内 知夫郡ノ内 知夫村
	黒木	島根縣ノ内 知夫郡ノ内 黒木村 浦郷村
	海士	島根縣ノ内 海士郡

同表中松山地方裁判所ノ部ヲ左ノ如ク改ム

		愛媛縣ノ内 松山市 温泉郡ノ内 道後湯之町 潮見村 興居島村 垣生村 久米村 五明村 久枝村 三津濱町 余土村 桒原村 伊臺村 和氣村 味生村 湯山村 堀江村 新濱村 生石村 石井村
	北條	愛媛縣ノ内 温泉郡ノ内 北條町 正岡村 淺海村 河野村 難波村 粟井村 立岩村
	東中島	愛媛縣ノ内 温泉郡ノ内 東中島村 睦野村 西中島村 神和村
	川上	愛媛縣ノ内 温泉郡ノ内 川上村 拜志村 小野村 三内村 北吉井村 南吉井村

松山	麻生	愛媛縣ノ内 伊豫郡ノ内 原町村 砥部町 温泉郡ノ内 浮穴村 荏原村 坂本村
	郡中	愛媛縣ノ内 伊豫郡ノ内 郡中町 北山崎村 岡田村 下灘村 郡中村 松前町 上灘町 南伊豫村 南山崎村 北伊豫村
	中山	愛媛縣ノ内 伊豫郡ノ内 中山町 廣田村 佐禮谷村
	久万	愛媛縣ノ内 上浮穴郡ノ内 久万町 仕七川村 父二峰村 明神村 中津村 川瀬村 柳谷村 面河村 弘形村
	小田町	愛媛縣ノ内 上浮穴郡ノ内 小田町村 田渡村 參川村 浮穴村 石山村
大洲		愛媛縣ノ内 喜多郡ノ内 大洲町 大川村 平野村 新谷村大字新谷町、新谷 南久米村 菅田村
	内子	愛媛縣ノ内 喜多郡ノ内 内子町 五城村 柳澤村 御祓村 大瀬村 新谷村大字喜多山、戀木 天神村 立川村 五十崎町 滿穗村
	長濱	愛媛縣ノ内 喜多郡ノ内 長濱町 喜多灘村 大和村 出海村 櫛生村
	粟津	愛媛縣ノ内 喜多郡ノ内 粟津村 三善村 上須戒村 白瀧村
	山鳥坂	愛媛縣ノ内 喜多郡ノ内 河邊村 大谷村 宇和川村

松山	八幡濱		愛媛縣ノ内 八幡濱市 西宇和郡ノ内 眞穴村 川之石町 双岩村大字中津川、若山、釜倉、布喜川 川上村 宮内村 喜須來村 磯津村 日土村 伊方村
		三瓶	愛媛縣ノ内 西宇和郡ノ内 三瓶町 泉村 三島村 二木生村 双岩村大字和
		三机	愛媛縣ノ内 西宇和郡ノ内 三机村 町見村 四ツ濱村
		三崎	愛媛縣ノ内 西宇和郡ノ内 三崎村 神松名村
	西條		愛媛縣ノ内 新居郡ノ内 西條町 加茂村 大生院村 飯岡村 神戸村
		泉川	愛媛縣ノ内 新居郡ノ内 泉川村 垣生村 船木村 新居濱町 大島村 角野村 金子村 多喜濱村 中萩村 高津村 神郷村 宇摩郡ノ内 別子山村
		三島	愛媛縣ノ内 宇摩郡ノ内 三島町 上分町 松柏村 富郷村 二名村 金田村 中曾根村 金砂村 川之江町 川瀧村 中之庄村 金生村 妻鳥村 寒川村
		土居	愛媛縣ノ内 宇摩郡ノ内 土居村 小富士村 豐岡村 蕪崎村 野田村 天滿村 津根村 關川村
		新立	愛媛縣ノ内 宇摩郡ノ内 新立村 上山村

	小松	愛媛縣ノ内 周桑郡ノ内 小松町 千足山村 石根村 吉井村 新居郡ノ内 橘村 氷見町 大保木村
	丹原	愛媛縣ノ内 周桑郡ノ内 丹原町 周布村 三芳村 德田村 田野村 多賀村 楠河村 中川村 壬生川町 庄内村 櫻樹村 國安村 吉岡村
今治		愛媛縣ノ内 今治市 越智郡ノ内 立花村 下朝倉村 龍岡村 波方村 關前村 富田村 清水村 九和村 乃万村 櫻井町 鴨部村 日高村 大井村 上朝倉村 鈍川村 波止濱町 小西村
	菊間	愛媛縣ノ内 越智郡ノ内 菊間町 龜岡村
	津倉	愛媛縣ノ内 越智郡ノ内 津倉村 宮窪村 渦浦村 龜山村 大山村
	東伯方	愛媛縣ノ内 越智郡ノ内 東伯方村 西伯方村
	岩城	愛媛縣ノ内 越智郡ノ内 岩城村 魚島村 弓削村 生名村
	宮浦	愛媛縣ノ内 越智郡ノ内 宮浦村 岡山村 瀬戸崎村 盛口村 鏡村
		愛媛縣ノ内 宇和島市 北宇和郡ノ内 高光村 戸島村 來村 日振島村 下波村 遊子村 蒋淵村 三浦村
	宮野下	愛媛縣ノ内 北宇和郡ノ内 三間村 愛治村 成妙村 二名村 好藤村

第2448号 本文

第2448号 本文

宇和島	
三島	愛媛縣ノ内 北宇和郡ノ内 三島村
日吉	愛媛縣ノ内 北宇和郡ノ内 日吉村 東宇和郡ノ内 高川村
明治	愛媛縣ノ内 北宇和郡ノ内 明治村 泉村 吉野生村 旭村
岩松	愛媛縣ノ内 北宇和郡ノ内 岩松町 北灘村 高近村 清滿村 御槇村 畑地村 下灘村
吉田	愛媛縣ノ内 北宇和郡ノ内 吉田町 立間村 立間尻村 奥南村 喜佐方村 東宇和郡ノ内 玉津村
卯之町	愛媛縣ノ内 東宇和郡ノ内 宇和町 多田村 中川村 石城村 下宇和村 田之筋村 俵津村 狩江村 高山村
野村	愛媛縣ノ内 東宇和郡ノ内 野村町 渓筋村 中筋村 貝吹村大字鎌田、中通川 魚成村大字魚成、田穗
横林	愛媛縣ノ内 東宇和郡ノ内 横林村 惣川村 貝吹村大字西、栗木
土居	愛媛縣ノ内 東宇和郡ノ内 土居村 遊子川村 魚成村大字下相、男河内
城邊	愛媛縣ノ内 南宇和郡

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十年三月四日

司法大臣 小原 直

告　示

◎内務省告示第九十二號

左ノ區域ニ昭和十年三月二十四日ヨリ市街地建築物法ヲ適用シ其ノ區域ヲ同法施行規則第百四十九條ノ二ノ規定ニ依リ指定ス

昭和十年三月四日　内務大臣 後藤 文夫

秋田縣大館町

◎内務省告示第九十三號

熊本都市計畫街路事業及其ノ執行年度割左ノ通決定シ昭和十年二月二十五日内閣ノ認可ヲ得タリ其ノ街路ヲ表示シタル圖面ハ熊本縣廳及熊本市役所ニ備ヘ置キ縱覽ニ供ス

昭和十年三月四日　内務大臣 後藤 文夫

熊本都市計畫街路事業及其ノ執行年度割

第一　熊本都市計畫街路中左ノ路線ノ一部ヲ都市計畫事業トス

街路番號 等級	類別	番號	起點	終點	主ナル經過地	幅員
一	三	九	本山町	迎町	―	一二間

別紙圖面表示ノ通「圖面省略」

第二　本事業ノ執行年度割左ノ通定ム

昭和九年度　約二割九分
昭和十年度　約一割九分
昭和十一年度　約五割二分

◎文部省告示第四十六號

福岡縣浮羽郡田主丸町ニ設置セル福岡縣浮羽工業學校ニ昭和十年四月ヨリ左記高級科設置ノ件昭和十年三月二日認可セリ

昭和十年三月四日　文部大臣 松田 源治

入學資格　同校家具塗工科第二學年修了程度
修業年限　三年

◎遞信省告示第五百七號

昭和六年七月遞信省告示第千四百號中左記第二號「使用ニ期間アルモノ」ニ左ノ通追加ス

昭和十年三月四日　遞信大臣 床次竹二郎

使用局所	日附印印形式	使用期間
札幌郵便局國防展覽會場内臨時出張所 富山郵便局國防展覽會場内臨時出張所		札幌局臨時出張所 自昭和十年三月五日 至同年同月十日 富山局臨時出張所 自昭和十年三月八日 至同年三月十日

局名ハ各別ノモノヲ使用ス

（參照）

昭和六年七月遞信省告示第千四百號ハ圖案文字ヲ挿入セル通信日附印使用ノ件ナリ

◎遞信省告示第五百八號

昭和十年三月六日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和十年三月四日　遞信大臣 床次竹二郎

名稱	位置	改定名稱
八木郵便取扱所	廣島縣安佐郡八木村	八木郵便局

◎遞信省告示第五百九號

大正四年勅令第二百十五號ニ基ク請願ニ依リ昭和十年三月六日ヨリ左記郵便取扱所ヲ三等郵便局ニ改定ス但シ郵便物集配事務ヲ取扱ハス

昭和十年三月四日　遞信大臣 床次竹二郎

名稱	位置	改定名稱
倉田郵便取扱所	鳥取縣岩美郡倉田村	倉田郵便局

◎遞信省告示第五百十號

左記官廳用無線電信ノ空中線電力ヲ下記ノ通變更ヲ承認セリ

昭和十年三月四日　遞信大臣 床次竹二郎

關係告示	施設者名	機器裝置場所	空中線電力
大正十五年三月遞信省告示第四百四十六號	農林省	汽船得撫丸	一五〇「ワット」

◎遞信省告示第五百十一號

昭和十年三月六日ヨリ左記簡易保險健康相談所ヲ開始シ健康相談及訪問看護事務ヲ取扱フ

昭和十年三月四日　遞信大臣 床次竹二郎

名稱	位置	訪問看護受持地域	取扱時間
京都西陣簡易保險健康相談所	京都市上京區烏丸通上立賣上ル相國寺門前町六四七番地ノ八	上京區但シ今出川以北、千本通以東トシ郵便區市外地ヲ除ク 左京區但シ郵便區市外地ヲ除ク	自四月一日至七月二十日及自九月一日至三月三十一日午前九時ヨリ午後四時迄 自七月二十一日至八月三十一日午前八時ヨリ正午迄

◎朝鮮總督府告示第六十五號

朝鮮東岸咸鏡南道利原郡南面龍項里ニ左ノ燈竿ヲ遮湖漁業組合ニ於テ新設シ之ニ點燈シタリ

昭和十年二月十四日　朝鮮總督 宇垣 一成

遮湖港燈竿

一位置　北緯 四〇度一一分五八秒（概位）東經 一二八度三九分四三秒（概位）（水路部刊行海圖 第三二四號）
一塗色及構造　塗裝セザル木造竿柱、電燈ヲ揭グ
一自基礎至燈火高　七米五
一自平均水面至燈火高　十一米
一等級及燈質　無等、電燈、不動白光
一明弧　全度
一燭光數　百五十
一光達距離　晴天ノ夜十浬
一記事　本燈竿ニハ看守員ヲ常置セザル爲燈火消滅シタルトキハ之ガ復舊迄ニ多少ノ時間ヲ要ス（遮湖漁業組合所管）

正　誤

本月一日商工省告示第十九號別册ノ(一)二頁紋章名中「シュウイツ」ハ「シュウィツ」ノ誤　商工書記官

敍任及辭令

◎昭和十年二月二十五日
正五位勳四等 佐藤 武
（各通）同 堀木 常助
敍從四位

◎昭和十年二月二十六日
正六位勳四等功五級 東海林壽次郎
敍從五位

◎昭和十年三月二日
帝室林野局事務官正六位 伊藤 武雄
任宮内事務官
敍高等官四等
大使館理事官正六位勳五等 玉木 鶴彌
任領事
敍高等官五等
（各通）外務書記生 高瀨 侍郎
同 佐々木敏夫
任外交官補
敍高等官七等
資源局屬兼資源局統計官從七位 加藤 一雄
任海軍理事官
敍高等官七等
海軍技手 菅 繁義
任海軍技師
敍高等官七等
特許局技手 中島 和雄
（各通）同 田丸 巖
同 上山 操
任特許局技師
敍高等官七等
南洋廳事務官從七位 古川武二郎
任樺太廳支廳長
敍高等官七等
樺太廳支廳長正七位 森 直太郎
任南洋廳事務官
敍高等官六等

（各通）内閣印刷局理事官 今井勝太郎
内閣印刷局技師 村井 操
臺灣ヘ出張ヲ命ス
社會局書記官 北岡 壽逸
第六十七回帝國議會内務省所管事務政府委員被仰付（以上請内閣）
故陸軍軍醫監正五位勳四等 佐藤 武
（各通）故陸軍法務官正五位勳四等 堀木 常助
故陸軍步兵少佐正六位勳四等功五級 東海林壽次郎
特旨ヲ以テ位一級追陞セラル（請宮内省）
宮内事務官 伊藤 武雄
賜四級俸
諸陵寮庶務課長兼考證課長ヲ命ス（請同）
外務書記官 永田 安吉
同 松嶋 鹿夫
（各通）同 山形 清
普通試驗委員ヲ命ス（請外務省）
領事 玉木 鶴彌
賜一級俸
アンヴェルス在勤ヲ命ス
外交官補 高瀨 侍郎
（各通）同 佐々木敏夫
賜四級俸
米國在勤ヲ命ス（以上請同）
内務技師 天埜 良吉
仙臺土木出張所勤務ヲ命ス（二月二十八日内務省）
岸和田市會議員 丸尾友治郎
同 池宮 清助
同 千野 豐吉
同 原 良助
同 東京爲三郎
（各通）
岸和田市助役 前川由太郎
都市計畫大阪地方委員會委員ヲ命ス
大阪府中河内郡長瀬村會議員 德美好治郎
願ニ依リ都市計畫大阪地方委員會委員ヲ免ス
堺市技師 梶浦 正武
都市計畫大阪地方委員會幹事ヲ命ス（以上請同）

第2448号 本文

廣島稅務監督局管內岩國稅務署所轄內相續稅審査委員ヲ命ス　司稅官　篠原常治

廣島稅務監督局管內岡山稅務署所轄內相續稅審査委員ヲ命ス　同　河原潔

廣島稅務監督局管內味野稅務署所轄內相續稅審査委員ヲ命ス　同　橋本正督

廣島稅務監督局管內倉敷稅務署所轄內相續稅審査委員ヲ命ス　同　佐竹唯四郎

株式會社臺灣銀行理事ヲ命ス（以上二日大藏省）　山本健治

鳥取高等農業學校教授　石川潤一
五級俸下賜
在外研究中俸給百分ノ四十ヲ支給ス

仙臺高等工業學校教授　辻井靜二
在外研究中俸給百分ノ四十ヲ支給ス（以上二日文部省）

樺太廳支廳長　古川武二郎
六級俸下賜
補元泊支廳長

南洋廳事務官　森直太郎
六級俸下賜（以上二日拓務省）

警視廳事務官　山川益市
保安部勤務ヲ命ス（二日警視廳）

公立高等女學校教諭　渡邊清也
同　蕗澤喜芳
（各通）
八級俸下賜（二月二十七日東京府）

公立實業學校長　清家正
二級俸下賜（二月二十八日同）

公立中學校教諭　吉野友喜
五級俸下賜（二月福岡縣）

同　三浦義藏
公立學校職員年功加俸令ニ依リ昭和九年十二月二十八日ヨリ年功加俸年額九拾六圓下賜（二月十日同）

公立專門學校教授　森山ヨネ
七級俸下賜（二月十日同）

道府縣立少年教護院教諭　下村多記
十三級俸當分九百圓下賜

公立中學校教諭　野見山圓藏
七級俸當分千五百參拾圓下賜

同　新井蓮太郎
七級俸當分千五百五拾圓下賜

同　小松正雄
七級俸當分千六百貳拾圓下賜（以上二月同）

公立高等女學校教諭　安永英次
八級俸當分千四百貳拾圓下賜（二月十日同）

公立實業學校教諭　竹內元淸
八級俸當分千四百四拾圓下賜（二月十二日同）

正誤

本月一日本欄一五頁三段吉林猛ハ吉森猛、福田富一ハ神田富一、一九頁一段中村政人ハ中野政人ノ孰モ誤植

彙報

○官廳事項

◎處務細則改正　熊本縣ニ於テ本年一月十九日處務細則ヲ改正シ知事官房ニ祕書係、文書係、總務部ニ人事課、庶務課、地方課、會計課、統計課、學務部ニ學務課、社寺兵事課、社會課、經濟部ニ經濟更生課、土木課、農務課、林務課、耕地課、商工水產課、蠶絲課、警察部ニ高等警察課、特別高等警察課、警務課、保安課、刑事課、衞生課、健康保險課ヲ設置シ同日ヨリ施行セリ

◎農村經濟更生中央委員會委員、幹事囑託及解囑　農村經濟更生中央委員會ノ委員、幹事ヲ一昨二日左ノ通囑託及解囑セリ

大藏省銀行局長　荒井誠一郎
預金部長　金子隆三
（各通）
農村經濟更生中央委員會委員ヲ囑託ス

社會局書記官　灘尾弘吉
文部書記官　小笠原豐光
（各通）
農村經濟更生中央委員會幹事ヲ囑託ス

社會局書記官　持永義夫
文部書記官　中島靈圓
（各通）
依願農村經濟更生中央委員會幹事ノ囑託ヲ解ク

◎任期滿了　株式會社臺灣銀行理事山本健治ハ本月一日任期滿了セリ

◎有爵者薨去　宮內省御用掛從三位勳四等伯爵伊東太郎ハ去月二十八日薨去セリ

◎官吏死去　海軍豫備少尉正八位篠塚實ハ去月八日、遞信局事務官正七位勳七等佐藤鋳吉ハ同二十七日孰モ死去セリ

◎土木技師死去　土木技師正七位金野三郎ハ本年一月二十一日死去セリ

○司法

◎少年審判所取扱少年數　少年審判所ニ於テ昭和十年一月中取扱ヒタル少年ノ數左ノ如シ（司法省）

新ニ受理シタルモノ千五百六人之ニ舊受八百八十八人ヲ加フレハ總計二千三百九十四人ニシテ終局シタルモノ千六百三十二人內少年法第四條ニ依リ保護處分ヲ加ヘタルモノ五百五十二人、差當リ保護處分ノ必要ナク又ハ保護處分不適當其他保護處分ヲ爲ス能ハサルタメ審判ヲ開始セサルモノ千七十二人他ノ少年審判所ニ送致八人ニシテ未濟七百六十二人アリ之ヲ前年ノ同月ニ比較スルニ舊受三百九十一人、新受四百二十五人、審判不開始三百六十一人、保護處分二百三十三人、未濟二百二十五人ヲ增加セリ

性別・行爲別	受理			終結														未濟
	舊受	新受	計	審判不開始	保護處分　訓誡	校長訓誡	書面誓約	保護者引渡	保護團體等ニ委託	少年保護司ノ觀察	少年教護院送致	矯正院送致	病院送致又ハ委託	計	檢事ニ送致	他ノ審判所ニ送致	合計	
刑法犯　男	七一六	五五八	一、二七四	二一二	二六 △三二三	—	三 △五	二八五 △六三	六五	七一	—	六	—	四五六 △三九一	—	七	六七五	五九九
刑法犯　女	七四	八九	一六三	三五	二 △四二	—	一	三三 △八	八	九	—	—	—	五三 △五〇	—	一	八九	七四
特別法犯　男	六五	八一六	八八一	七八九	七 △一五	—	一 △一	二七	—	—	—	—	—	三五 △一六	—	—	八二四	五七
特別法犯　女	一	二九	三〇	二八	△一	—	—	二	—	—	—	—	—	二 △一	—	—	三〇	—
刑罰法令ニ觸ルヽ行爲ヲ爲ス虞アルモノ　男	二六	一三	三九	六	△三	—	—	—	六	—	—	—	—	六 △三	—	—	一二	二七
刑罰法令ニ觸ルヽ行爲ヲ爲ス虞アルモノ　女	六	一	七	二	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	二	五
計　男	八〇七	一、三八七	二、一九四	一、〇〇七	三三 △三四一	—	四 △六	三一二 △六三	七一	七一	—	六	—	四九七 △四一〇	—	七	一、五一一	六八三
計　女	八一	一一九	二〇〇	六五	二 △四三	—	一	三五 △八	八	九	—	—	—	五五 △五一	—	一	一二一	七九
男女總計	八八八	一、五〇六	二、三九四	一、〇七二	三五 △三八四	—	五 △六	三四七 △七一	七九	八〇	—	六	—	五五二 △四六一	—	八	一、六三二	七六二

（備考）△印ハ他ノ處分ヲ併科シタルモノニシテ外數ナリ

○警察

◎豫約出版屆出　豫約出版法ニ依リ警視廳ヘ豫約出版ヲ屆出テタルモノ左ノ如シ（警視廳）

題號　支那年鑑
著作者　一宮房治郎
發行者　同上
發行所　東京市麴町區三年町一番地　東亞同文會研究編纂部
著手年月日　昭和十年三月七日
屆出年月日　昭和十年二月二十五日

題號　普及講座防災科學
著作者　岩波茂雄
發行者　同上
發行所　東京市神田區一ツ橋二丁目三番地
著手年月日　昭和十年三月八日
屆出年月日　昭和十年二月二十五日

題號　山崎延吉全集
著作者　山崎延吉
發行者　服部英雄
發行所　東京市神田區錦町二丁目三番地　山崎延吉全集刊行會
著手年月日　昭和十年三月十日
屆出年月日　昭和十年二月二十六日

◎豫約出版履行　昨九年四月二十日南條初五郎ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「實用機械工學講座」ノ豫約出版ハ之ヲ履行シタル旨屆出テタリ（警視廳）

○陸海軍

◎後備役編入　豫備役海軍機關大佐北島香苗ハ去月一日、同海軍少將大寺量吉ハ同三日、同中尉北川玉一ハ同七日、同軍醫中尉黑田啓次ハ同十日、同海軍大佐平山榮ハ同十三日、同熊谷秀夫ハ同十四日、同軍醫中佐工藤貞雄、同造機中佐粟原岩太郎ハ同十五日、同海軍中佐工藤健次郎ハ同十八日、同大尉池田晋ハ同二十一日、同中佐田伏亮ハ同二十二日、同主計大尉鴨尾靜一ハ同二十三日、同海軍中佐篠田賢則ハ同二十四日、同軍醫大佐塩澤良造ハ同二十五日、同主計中佐小山芳太郎ハ同二十七日、同軍醫大佐宮川龍麿ハ同二十八日孰モ後備役ト爲レリ（海軍省）

◎退役編入　後備役海軍中將山中柴吉ハ去月六日、同少佐高田眞、同軍醫中佐風間啓ハ同九日、同海軍中佐糟谷季之助、同軍醫大佐矢澤操ハ同十日、同海軍少佐是川寬治、同造船中將山本開藏ハ同十五日、同海軍中佐緒方末記ハ同十六日、同主計少將宇土兵藏ハ同十八日、同海軍中佐田川叢ハ同二十七日孰モ退役ト爲レリ（海軍省）

◎學生入校　陸軍獸醫學校甲種學生左記十一人本月一日入校セリ（陸軍省）

陸軍一等獸醫　水野基次
同　間庭秀信
同　池田理兵衞
同　小川三郎
同　山元南一
同　小林幹雄
同　藤森順一
同　大久保春芳
同　石垣誠一
同　早坂正雄
同　中村芳雄

◎卒業證書付與　騎兵第二十聯隊留守隊ニ於テ昨九年十二月二十七日陸軍騎兵上等兵田中常三（京都府）ニ蹄鐵術卒業證書ヲ付與セリ（陸軍省）

○學事

◎帝國學士院總會及部會　帝國學士院ニ於テ去月十二日午後三時第二百八十二回總會ヲ開ク院長櫻井錠二開會ヲ宣シ直ニ別項論文ノ報告アリ終テ一時休憩ノ後第一部及第二部部會ヲ開ク各部共會員補缺一名ニ對スル候補者三名ニ就キ決選投票ヲ行ヒタルモ孰モ當選者ヲ得ス次テ昭和十年度學術研究費補助事項竝ニ東照宮三百年祭記念會ヘ推薦スヘキモノニ就キ各部部長ヨリ夫〻當該部會ニ報告アリタル後各〻部務ニ關シ協議ヲ爲セリ各部會終了後再ヒ總會ヲ開ク院長ハ先ツ本年一月二十八日學術研究ノ資トシテ金一万圓、賞典資トシテ金二千圓下賜アリシ旨ヲ報告シ且ツ學術研究ノ資下賜ニ關スル御沙汰書ヲ捧讀セシ後會員石川千代松死亡ニ關スル報告ヲ爲シ會員一同起立シテ哀悼ノ意ヲ表ス次テ富井第一部部長及佐藤第二部部長ヨリ其部會ニ於ケル議事事項ノ報告アリタル後姉崎幹事ハ役員會ノ決定ニ係ル昭和十年度學術研究費補助事項竝ニ東照宮三百年祭記念會ヘ推薦スヘキモノヲ提案シ異議ナク之ヲ承認可決シ終テ午後七時二十分閉會ス

前項報告論文竝ニ學術研究費補助事項左ノ如シ（文部省）

一、論文

題表	提出者
一行列集合體に於ける移動（一）	河口商次
一グロシフォニア科の蛭の新屬オリゴクレプシスの記載	會員　丘淺次郎
一有尾類の半分化品種に於けるフリー、マーチン結果（豫報）	內田亨
一アノフェレスに寄生する水だにの生活史	內田亨、宮崎一郎
一日中霧を通して使用し得る光電話に就て	拔山大三
一文化元年象潟地震及び明治二十七年酒田地震に伴へる地殼變形	會員　今村明恒
一滿洲產オルドビシア石灰岩の有孔虫（？）化石	同　矢部長克、半澤正四郎
一琉球群島の地史大要	半澤正四郎
一土壤線虫の運動に就て	谷口良頴
一電離したる鉛のスペクトル線が刺激電波內に現す特徴	會員　長岡半太郎、二神哲五郎
一Drosophila のX體染色體の構造に就ての推論	吉川秀男

二、研究費補助事項

研究題目	研究者
一朝鮮民謠の研究	高橋亨、小倉進平
一日本に於ける石器時代、海岸地域の地理學的研究	小牧實繁
一アタルヴァヴェーダの研究竝びに飜譯	常盤井堯猷、岩本裕
一明治時代文化に貢獻せる歐米人の業績に關する資料蒐集	重久篤太郎
一朝鮮家族制度の研究	金斗憲
一琉球諸島言語の研究	宮良當壯
一西行法師家集の書誌的研究	伊藤嘉夫
一四國方言の研究	奧里將建
一新しき原理に基く尺度の精密目盛法に關する研究	海老原敬吉
一デイプロンの衝戟による原子壞變の研究	菊地正士
一宮古、青森間水準測量	會員　寺田寅彥
一中央及東北日本氷成堆積層と其地形	同　小川琢治
一甲駿地方第三紀火成岩の火山學竝に岩學的研究	本間不二男
一朝鮮に於けるアルカリ岩類の地質學的岩石學的研究	春本篤夫
一日本に於ける硫黃鑛床の研究（第二）小型鑛染鑛床に就て	加藤武夫
一地形圖表示法の理論的研究と新圖法による地形圖の試作	田中吉郎

一日本產櫻屬及鳶尾屬植物の野生及培養品種に關する研究　會員　三好　學
一合金系に現れたる共析變態の性質に關する研究　大日方一司
一內燃機點火用高壓磁石發電機の研究　熊谷　三郎
一朝鮮及滿洲に於ける巨石墳墓の研究　藤田　亮策
一明治時代に於ける圖書館の歷史的研究　竹林　熊彥
一日本村落の歷史地理的研究　藏田　伊人
一日本に於ける獨逸語の研究の沿革　山岸　光宣
一テルル含有金銀鑛の乾性分析に關する研究　（渡邊萬次郎　中野　長俊）
一Ｘ線に依る蟋蟀科昆虫の染色體の變化の研究及人工的突然變異の研究　鈴木　一男
一やつこさうの研究　渡邊　清彥
一五島列島の植物分布に關する研究　竹內　亮
一日本產變形菌類の生理學的及生態學的研究　江本　義數
一北海道植物誌の資料蒐集の爲め　會員　宮部　金吾
一寄生性等脚類の性に關する研究　平岩　馨邦
一鹿兒島枇榔島に於ける植物生態學的研究　（中野　治房　岡　現次郎　津田　道夫）
一日本產タコノキ科の研究　金平　亮三
一八重山列島珊瑚礁の動物相調查　大島　廣

一日本產兩棲類に於ける雌雄性の研究　內田　亨
一生活現象物理化學的研究　野村　七錄　外一名
一日本產ベトカビ科の生態學的並に分類學的研究　樋浦　誠
一プクシニアストラム亞科の形態、生態並に分類に關する研究　平塚　直秀
一松結瘤に關する研究　神谷　一男
一農作物の根に對する數種の處置が生育に及ぼす影響の研究　東條　健二
一家禽の屬間雜種に關する血清生物學的研究　佐々木清綱
一アイヌ狩獵及狩獵具の研究　（犬飼　哲夫　名取　武光）
一食用作物特に水稻の榮養生理に就て　石塚　喜明
一土壤の理化學的性質が甘庶の糖類生成並に其蓄積に及ぼす生理化學的作用の研究　澁谷紀三郎
一隨唐時代に於ける職役力役の研究　濱口　重國
一中江藤樹及其學派の研究　柴田甚五郎
一齊民要術の校正及び飜譯　小出　滿二
一血液型に關する研究　（古畑　種基　正木　信夫　桑島　直樹　越後　一雄）
一生物學的液體特に血液に於ける遊離水及結合水の量的研究　（中村　拓　黑田嘉一郎）
一朝鮮產脊推動物の比較解剖學的研究　（津崎　孝道　松本　清　飛永　末喜）
一發疹チブス所謂滿洲チブス（發疹熱）の異同に關する病原的研究　戸田　忠雄

一組織鐵に關する研究　（清野　謙次　岡本　耕造）
一膽石及腎石症の原因並に治療に關する研究　（松尾　巖　井上　硬）
一レ線照射に際する時間的因子の實驗的研究　（中泉　正德　佐野　潤卿）
一實驗的血壓降下劑の研究　櫻澤富士雄
一大網の生理及病理　都築　正男
一諸還元劑による結核化學療法の實驗的研究　佐藤　秀三
一病理細菌の發育に必要なるヴィタミンの分離　（細谷　省吾　桑島　謙夫）
一創傷治癒に關する溫泉作用の研究　高安　愼一
一腫瘍組織の新陳代謝特に其れと內分泌との關係に就て　森　茂樹
一ワッセルマン反應の本態に關する研究　（柿內三郎　吉川　春壽）
一火山の地球化學的研究　（柴田　雄次　木村健次郎）
一グルコスルファターゼの研究　左右田德郎
一エチレン結合の附加反應の研究　漆原　義之
一公孫樹葉中に含まるゝ成分の研究　久保田勉之助
一菌類に依るフェニルエチルアルコール並に其のエスターの生產に關する研究　高橋　偵造
一生蔬菜類及果實類の理化學的殺菌防腐の研究　鐵本　總吾
一定量分光化學分析　岩村　新
一セレノフェン誘導體の合成的研究　（杉野目晴貞　梅澤　純夫）
一4、5ヂフェニルカーバゾール誘導體又は類似構造を有する化合物の分子の立體的配置　佐古　眞一

一臺灣產蛇毒の酵素化學的研究　（佐藤　正一　平野　保）
一ヒノキチン、ヒノキチオール及類似化合物の研究（植物色素の一新型）　野副　鐵男
一福木の色素フクゲチンの化學構造に就て　村上　增雄
一氣體化學反應の根本的諸問題の研究（其の內極低壓に於ける均一及不均一反應）　佐々木申二
一マガキ脂肪に關する生物化學的研究　增本政次郎
一無聲放電による膠質液の生成　宮本　進
一湖沼堆泥中の物質代謝に關する研究　菅原　健
一シノメニン研究　後藤　格次
一セレン有機化合體の合成　（廖松勝左衞門　黑田　勳）
一男性ホルモンの研究　（緒方　章　平野　四郎）
一元祿七年及寶永元年兩度の能代地震に伴へる地殼變形　會員　今村　明恒
一北部朝鮮各地に產する鑛物研究　（伊藤　貞市　平野　四郎）

◎在外研究員歸朝　農林省在外研究員獸疫調查所技師布村繁ハ去月五日歸朝セリ（農林省）

○產業

◎助成金交付　高知縣ニ對シ風水害應急施設耕地事業助成要項ニ依リ昭和九年度ニ於テ金四萬七千四百七十七圓、昭和十年度ニ於テ金二萬九千百四十四圓ヲ交付スル旨去月二十五日指令セリ（農林省）

○通運

◎船舶出入數　橫濱、神戸、長崎、門司、大阪五港ニ於ケル昭和九年十二月中ノ船舶出入數左ノ如シ（遞信省）

入港

國籍	船種別	航路	橫濱 船數	橫濱 總噸數	神戸 船數	神戸 總噸數	長崎 船數	長崎 總噸數	門司 船數	門司 總噸數	大阪 船數	大阪 總噸數
日本	汽船	內國航	二三六	六三七、六四二	一、八九〇	一、七八八、七四〇	三七五	八八、八二三	四三三	九二四、七二六	五九四	九七四、一五一
〃	〃	外國航	一四八	八六二、二六七	二五七	一、三七五、八八六	二七	一二九、五三二	二一六	九六九、七六三	一九四	九九九、〇九六
〃	帆船	〃	六	九三六	一	六五	八五	六、八四二	六〇	四、四三一	—	—
〃	〃	〃	一	一一六	—	—	—	—	—	—	—	—
英國	汽船		三五	三四一、八五七	四七	四二七、三六五	六	六三、五八八	二四	一五五、八六三	三四	二〇九、八五六
米國	〃		二〇	二二三、五二一	一六	一八一、一一九	—	—	二	一三、五六二	六	三七、九九〇
佛國	〃		—	—	二	三一、二一七	—	—	—	—	—	—
和蘭	〃		四	二九、一一四	六	四四、二三九	—	—	二	一五、一二五	九	五八、六三二
獨逸	〃		五	四〇、五六四	六	四八、八二三	—	—	四	二七、〇七九	五	三八、二四二
瑞典	〃		五	四〇、五〇一	二	一四、四二六	—	—	一	六、三九〇	三	一九、六五一
諾威	〃		一五	八九、四九二	一六	九六、二二六	二	一三、五六三	四	二二、二九五	一〇	六〇、〇七八
丁抹	〃		六	三七、二六七	四	二二、一七三	—	—	一	八、六五四	—	—
伊太利	〃		—	—	一	五、三五九	—	—	一	五、三三八	—	—
中華民國	〃		三	一〇、三九九	一	六、五四三	二	五、〇九四	九	二六、六六八	六	一六、〇二六
滿洲國	〃		—	—	一	一、二二九	—	—	一	一、二二九	—	—
希臘	〃		一	四、三一二	—	—	—	—	四	二〇、三一九	—	—
ユーゴースラヴィア	〃		一	六、三六三	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	汽船		四七九	二、三二一、九〇九	二、二四九	四、〇四四、三四二	四一二	三〇〇、六〇〇	七〇二	二、一九七、〇一一	八六一	二、四二一、七二三
〃	帆船		七	一、〇五二	一	六三	八五	六、八四二	六〇	四、四三一	—	—

出港

國籍	船種別	航路	橫濱 船數	橫濱 總噸數	神戸 船數	神戸 總噸數	長崎 船數	長崎 總噸數	門司 船數	門司 總噸數	大阪 船數	大阪 總噸數
日本	汽船	內國航	二三〇	六〇三、一二六	一、八八六	一、七八九、八七七	三七三	八六、三五〇	四三六	九三〇、九六三	五九六	九七九、七一二
〃	〃	外國航	一四九	八六七、七八一	二六三	一、四二二、〇七一	二六	一二七、九九三	二一四	九六六、二〇一	一九九	一、〇一六、七五三
〃	帆船	〃	五	八三二	二	一三七	八六	六、六二四	六〇	四、四三一	—	—
〃	〃	〃	一	一一六	—	—	—	—	—	—	—	—
英國	汽船		三三	三三七、四一五	四七	四一六、二七三	六	六三、五八八	二五	一六一、三四九	三五	二二八、八五八
米國	〃		二〇	二二三、五二一	一六	一八一、一一九	—	—	二	一三、五六二	五	三一、五六九
佛國	〃		—	—	二	三一、二一七	—	—	—	—	—	—
和蘭	〃		四	二一、八五五	七	四九、九九九	—	—	二	一五、一二五	八	五三、〇一二
獨逸	〃		五	四〇、五六四	五	三九、三九三	—	—	四	二七、〇七九	五	三七、四六九
瑞典	〃		五	四〇、五〇一	三	二一、二九七	—	—	一	六、三九〇	二	一三、二六一
諾威	〃		一五	八八、一八二	一五	九一、六三六	二	一三、五六三	五	二五、九七二	一一	六六、六七三
丁抹	〃		五	二八、六七〇	四	二三、一七三	—	—	一	八、六五四	—	—
伊太利	〃		—	—	—	—	—	—	一	五、三三八	—	—
中華民國	〃		二	九、一〇一	一	六、五四三	二	五、〇九四	一〇	二九、八五五	四	一四、九八三
滿洲國	〃		—	—	—	—	—	—	一	一、二二九	—	—
希臘	〃		一	四、三一二	—	—	—	—	四	二〇、三一九	—	—
ユーゴースラヴィア	〃		一	六、三六三	—	—	—	—	—	—	—	—
總計	汽船		四六九	二、二六〇、〇〇一	二、二四九	四、〇七二、五九八	四〇九	二九六、五八八	七〇六	二、二二三、〇三六	八六六	二、四三一、二九〇
〃	帆船		六	九四八	二	一三七	八六	六、六二四	六〇	四、四三一	—	—

（備考）本表ノ外ニ開港港則施行規則第二十六條ニ依リ允許ヲ與ヘタルモノ橫濱港九六隻、神戸港一八隻、長崎港一六隻、門司港一六五隻、大阪港一〇一隻アリ

◎軌道運輸營業廢止實施　本年一月十九日矢作水力株式會社ニ對シ軌道運輸營業廢止ノ件許可シタル處同三十日之ヲ實施セル旨屆出アリタリ（鐵道省、內務省）

○衞生

◎代用消毒藥品檢定　代用消毒藥品檢定規程ニ依リ左ノ通檢定ヲ了シタル旨傳染病研究所ヨリ報告アリタリ（內務省）

藥品名　「デシン」第二一九號
出願者名　後藤「デシン」本舖
出願月日　二月八日
檢定月日　二月二十二日
檢定番號　第三五八號
數量　五千瓩
檢定成績　合格
指示シタル代用藥品名　傳染病豫防法施行規則ニ規定セル石炭酸水及「クレゾール水」
指示シタル製法　「デシン」溶液 ｛「デシン」三分　水　九十七分｝ 「デシン」溶液ヲ製スルニハ定量ノ「デシン」ニ定量ノ水又ハ湯ヲ加ヘ攪拌溶解セシム
小分豫定容器數　四百五十瓦入一一、一一一罐

◎國際傳染病報告　本件ニ關シ去月二十二日在新嘉坡保健部東局ヨリ西貢無線電信局ヲ經テ左ノ通情報アリタリ（去月二十五日本欄內務省）（內務省）

自二月十日至同十六日國際傳染病狀況本表中死者ハ二週間前ノ一週間ニ於ケル數ヲ文書報告ニ依リ示ス

港及都市	「ペスト」患者	累計（一月以來）	死者	累計（同上）	「コレラ」患者	累計（同上）	死者	累計（同上）	痘瘡 患者	累計（同上）	死者	累計（同上）
香港	—	—	—	—	—	—	—	—	二	一五	—	二
廣東	—	—	—	—	—	—	—	—	二	一二	—	—
マカオ	—	—	—	—	—	—	—	—	二一	九七	一二	四六
ツーラン	—	—	—	—	—	—	—	—	一	四	—	—
モールメーン	—	—	—	—	三	七	一	四	—	—	四	四
蘭貢	—	—	—	—	八	四四	一〇	二四	二六	九一	二	九
バセイン	—	一	—	一	二	一〇	〇	八	—	一	—	三
チッタゴン	—	—	—	—	二	二	—	—	—	—	—	—
カルカッタ	—	—	—	—	一五一	四八九	二九	八五	三五	一四三	一六	四七
ヴィザガパタム	—	—	—	—	—	—	—	—	二三	一八二	八	二六
マドラス	—	—	—	—	一	三一	—	一七	一六	七七	—	五
ネガパタム	—	—	—	—	—	一	—	四二	八	六五	二	七
孟買	—	一	—	一	—	—	—	—	五二	二三九	三五	七六
カラチ	—	—	—	—	—	—	—	—	八	三一	—	七

（摘要）本週中アレキサンドリアニ於テ發疹「チフス」患者二發生セリ

帝國議會

○貴族院

◎會議　一昨二日ノ議事經過左ノ如シ
兵役法中改正法律案（政府提出）
右議案ハ之ヲ特別委員（議長指名）ニ付託ス
勞働者災害扶助法中改正法律案（政府提出）
工場法中改正法律案（政府提出）
鑛業法中改正法律案（政府提出）
右三案ハ之ヲ同一ノ特別委員（議長指名）ニ付託ス

◎國務大臣出席　後藤內務大臣、林陸軍大臣、松田文部大臣ハ一昨二日ノ會議ニ出席セリ

◎議案提出　一昨二日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ
大正九年法律第五十六號中改正法律案
登錄稅法中改正法律案
刑事判決宣告猶豫ニ關スル法律案
小作調停法中改正法律案
衞生組合法案
傳染病豫防法中改正法律案
產師法案

第2448号　本文

◎特別委員選定　一昨二日議長ニ於テ特別委員ヲ左ノ如ク選定セリ

兵役法中改正法律案特別委員

侯爵山內　豐景　子爵立見　豐丸
男爵鍋島　直明　男爵有地藤三郎
中村純九郎　田所　美治
松本　學　三木與吉郎
平沼　亮三

勞働者災害扶助法中改正法律案、工場法中改正法律案、鑛業法中改正法律案特別委員

公爵島津　忠承　伯爵松木　宗隆
子爵野村　益三　柴田善三郎
男爵關　義壽　安立　綱之
大塚　惟精　細田安兵衞
青木才次郎

◎正副委員長互選　一昨二日委員會ニ於テ正副委員長ヲ互選セリ其ノ結果左ノ如シ

北洋漁業取締法案特別委員會
委員長　伯爵有馬　賴寧
副委員長　男爵赤松　範一

國際文化事業ニ關スル經費支辨ニ關スル法律案特別委員會
委員長　伯爵樺山　愛輔
副委員長　男爵高木　喜寬

造幣局ノ廳舍、工場其ノ他ノ用ニ供スル建物及其ノ附屬設備ノ新營費ニ關スル法律案特別委員會
委員長　伯爵二荒　芳德
副委員長　眞野　文二

◎書類配付　一昨二日左ノ書類ヲ配付（文書函ニ投入）セリ

大正九年法律第五十六號中改正法律案
登錄稅法中改正法律案
刑事判決宣告猶豫ニ關スル法律案
小作調停法中改正法律案
衞生組合法案
傳染病豫防法中改正法律案
產師法案

◎委員會　今四日開會ノ委員會左ノ如シ

豫算委員會
請願委員第一分科會（大藏省、農林省）
請願委員第三分科會（內閣、司法省、遞信省、拓務省）
決算委員第一分科會（歲入、大藏省）
決算委員第二分科會（外務省、內務省、司法省）
決算委員第三分科會（陸軍省、海軍省）
決算委員第四分科會（文部省、農林省、商工省、遞信省）
以上午前十時
北洋漁業取締法案特別委員會
午後一時三十分

○衆議院

◎會議　一昨二日ノ本會議議事經過左ノ如シ

午後二時十分開議

文學博士坪內雄藏君逝去ニ付院議ヲ以テ弔詞ヲ贈呈シ其ノ弔詞ハ議長ニ一任スルノ件（議長發議）
右件ハ討論ノ後全會一致之ヲ可決ス

朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）
右議案ハ第一讀會ヲ開キ其ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ議長指名（九名）ニ決ス

札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
宮崎縣營鐵道及軌道竝ニ大隅鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）
右兩案ハ一括シテ第一讀會ヲ開キ各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選擧ハ議長指名（十八名ノ同一委員）ニ決ス

航空國策樹立ニ關スル建議案（前田米藏君外四十八名提出）
右議案ハ議事日程ヲ變更シテ議題ト爲シ討論ノ後之ヲ可決ス

大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（東武君外五名提出）
大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（山本厚三君外四名提出）
右兩案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告（兩案ヲ併合シテ一案トシ）ノ通修正議決ス

登錄稅法中改正法律案（金光庸夫君外三名提出）
右議案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通修正議決ス

刑事判決宣告猶豫ニ關スル法律案（一松定吉君外三名提出）
小作調停法中改正法律案（藤田若水君外四名提出）
右兩案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ原案ノ通可決ス

衞生組合法案（田中祐四郎君外二名提出）
衞生組合法案（鷲野米太郎君外五名提出）
衞生組合法案（野田文一郎君外一名提出）
傳染病豫防法中改正法律案（田中祐四郎君外二名提出）
傳染病豫防法中改正法律案（鷲野米太郎君外五名提出）
產師法案（土屋清三郎君外三名提出）
產師法案（野方次郎君外四名提出）
產師法案（山道襄一君外二名提出）
右八案ハ議事日程ノ順序ヲ變更シ一括シテ第一讀會ノ續會ヲ開キ先ツ第一乃至第五ノ五案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告（第一乃至第三ノ三案ハ併合シテ一案トシ第四及第五ノ二案ハ併合シテ一案トス）ノ通修正議決、次テ第六乃至第八ノ三案ノ第二讀會ヲ開クニ決シ引續キ第二讀會ヲ開キ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告（第六乃至第八ノ三案ヲ併合シテ一案トス）ノ通修正議決ス

自動車交通事業法中改正法律案（吉川吉郎兵衞君外七名提出）
右議案ハ第一讀會ヲ開キ東武君外五名提出大正九年法律第五十六號中改正法律案外一件委員ニ併セ付託スルニ決ス

舊獨逸膠州租借地還付ニ關スル條約實施ニ伴フ損失ノ補償ニ關スル法律案（久山知之君外二名提出）
右議案ハ第一讀會ヲ開キ政府提出政府貸付金處理ニ關スル法律案委員ニ併セ付託スルニ決ス

五大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案（中井一夫君外四名提出）
五大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案（小山松壽君外六名提出）
右兩案ハ一括シテ第一讀會ヲ開キ政府提出府縣制中改正法律案外三件委員ニ併セ付託スルニ決ス

百貨店法案（眞鍋儀十君外三名提出）
百貨店法案（三上英雄君外一名提出）
右兩案ハ一括シテ第一讀會ヲ開キ東武君外三名提出度量衡法中改正法律案外二件委員ニ併セ付託スルコトニ決ス

傷痍軍人及戰公傷病死者遺族等ノ鐵道船舶等乘車船優遇ニ關スル法律案（吉川吉郎兵衞外四名提出）
右議案ハ第一讀會ヲ開キ八田宗吉君外七名提出家祿賞典祿給與未濟ニ關スル法律案委員ニ併セ付託スルニ決ス

議長ハ議事日程ハ之ヲ議了セル旨ヲ告ケ散會ヲ宣告ス

午後五時散會

◎國務大臣出席　岡田內閣總理大臣、大角海軍大臣、林陸軍大臣、床次遞信大臣、町田商工大臣、松田文部大臣、內田鐵道大臣、兒玉拓務大臣ハ一昨二日ノ會議ニ出席セリ

◎國務大臣演說　內田鐵道大臣、兒玉拓務大臣ハ一昨二日ノ會議ニ於テ演說セリ

◎議案送付　一昨二日貴族院ニ送付シタル本院提出案左ノ如シ

大正九年法律第五十六號中改正法律案
登錄稅法中改正法律案
刑事判決宣告猶豫ニ關スル法律案
小作調停法中改正法律案
衞生組合法案
傳染病豫防法中改正法律案
產師法案

◎議案提出　一昨二日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

家事調停法案（中村三之丞外二名提出）
議院法中改正法律案（前田米藏外五十五名提出）
政府ノ爲ス土木建築請負契約統一ニ關スル建議案（蔭山貞吉提出）
弓道ヲ中等學校正科目ニ編入ニ關スル建議案（佐藤洋之助提出）
母子扶助法制定ニ關スル建議案（末松偕一郎外三名提出）
金融合理化ニ關スル法律制定ニ關スル建議案（前田房之助外九名提出）
金融合理化ニ關スル法律制定ニ關スル建議案（三上英雄外三名提出）

◎建議書呈出　一昨二日政府ニ呈出シタル建議書左ノ如シ

航空國策樹立ニ關スル建議書

◎質問書提出　一昨二日議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ

朝鮮ニ於ケル司法權振肅ニ關スル質問主意書（風見章提出）

◎委員會　今四日開會ノ委員會左ノ如シ

決算委員第一分科（大藏省所管）會
決算委員第二分科（外務省、內務省、司法省及文部省所管）會
以上午前十時
決算委員第三分科（陸軍省、海軍省、農林省及商工省所管）會
決算委員第四分科（遞信省、鐵道省及拓務省所管）會
請願委員第一分科（內閣、大藏省所管及他ノ分科ニ屬セサル事項）會
以上午後一時
請願委員第二分科（外務省、內務省、農林省及商工省所管）會
午後二時
市町村立尋常小學校費臨時國庫補助法中改正法律案（政府提出）委員會
府縣制中改正法律案（政府提出）外三件委員會
產繭處理統制法案（政府提出）外二件委員會
朝鮮事業公債法中改正法律案（政府提出）委員會（委員長及理事互選）
札幌軌道株式會社及矢作水力株式會社所屬軌道ノ經營廢止ニ對スル補償ノ爲公債發行ニ關スル法律案（政府提出）外一件委員會（委員長及理事互選）
以上午前十時
政府貸付金處理ニ關スル法律案（政府提出）委員會
借地借家調停法中改正法律案（藤田若水君外四名提出）外六件委員會
以上午後一時

正誤

一昨二日官報七一頁二段正誤ノ項中『同十二行「大牟田港修築促進ニ關スル建議案」ハ「大牟田港修築促成ニ關スル建議案」』ハ『同十四十五行「大牟田驛三池港臨港線促進ニ關スル建議案」ハ「大牟田驛三池港臨港線促成ニ關スル建議案」』ノ報告誤

衆議院書記官

地方行政

◎旌表　神奈川縣ニ於テ去月十一日御大禮記念表彰規程ニ依リ表彰シタル者左ノ如シ（神奈川縣）

高座郡綾瀨村　森山　テイ

資性温順幼時母ヲ失ヒ貧窶ノ間ニ處シテ老祖母ニ仕ヘ不具ノ父ニ慰撫孝養ヲ盡シ弟妹ヲ愛撫教養シ專心克ク勞働ニ從事シ機手一家ノ維持經營ニ努ムルコト茲ニ十有三年餘洵ニ他ノ龜鑑トナスニ足ル仍テ本縣御大禮記念表彰規程ニ依リ金一封ヲ贈リ以テ之ヲ表彰ス

從七位勳六等　加藤　郁二

資性剛毅夙ニ父祖ノ業ヲ繼キ貿易ニ從事シテ水產物ノ輸出ヲ促進シ千島漁業ノ開發ニ志シ挺身其ノ事業ヲ督ス又多年各種ノ產業組合團體ヲ統理シテ其ノ振興ヲ補ケ公共ノ福利增進ニ盡瘁セル功績洵ニ顯著ナリ仍テ本縣御大禮記念表彰規程ニ依リ銀杯一箇ヲ贈リ以テ之ヲ表彰ス

從六位　久野　春光

資性温厚篤實明治三十四年三月本縣小學校訓導拜命以來勤續茲ニ三十有四年其ノ間精勵恪勤教育界ニ貢獻スル所尠カラス（以下前同文）

足柄上郡共和村　岩本理喜三

資性温厚篤實夙ニ共和村書記トナリ次テ助役ニ推サレ更ニ村長ニ膺選シ十有七年ノ間難局ニ處シテ精勵恪勤克ク地方自治ノ進展ニ寄與スル所尠カラス（以下前同文）

中郡大磯町　進藤　玄敬

資性温厚明治三十一年六月本縣中郡大磯小學校醫ヲ囑託セラレ爾來勤續茲ニ三十有六年其間大磯實科高等女學校校醫大磯幼稚園醫中郡學校醫會長本縣學校醫會評議員等ニ推サレ精勵恪勤學校衞生ノ向上ニ貢獻スル所尠カラス（以下前同文）

中郡大磯町　二挺木朝五郎

資性温順ニシテ實直夙ニ大磯警察署使丁トナリ勤續茲ニ滿三十年精勵恪勤ス洵ニ他ノ模範トナスニ足ル仍テ本縣御大禮記念表彰規程ニ依リ金一封ヲ贈リ以テ之ヲ表彰ス

二十一年	神奈川縣警部補	萩原猪三郎
二十年	同	山元　幾志
二十一年	神奈川縣巡查部長	佐藤　慶七
同	同	水野　四郎
二十年	同	鈴木　壽松
同	同	倉根　東作
同	同	伊藤　康壽
二十一年	神奈川縣巡查勳七等	石井長五郎
二十年	同	小茄子川丈吉
同	神奈川縣巡查	荒　鐵次郎
同	同	鈴木　喜七
同	同	宇野初太郎
同	同	鎌田丈治郎

（各通）

本縣巡查拜命以來勤續（頭書）其間品行方正克ク職務ニ精勵シ勞效尠カラス（以下前同文）

在外公館報告

◎ボリヴィア國大統領更迭　本件ニ關スル本年一月二日附智利國駐箚矢野特命全權公使報告左ノ如シ（外務省）

ボリヴィア國大統領ダニエル、サラマンカ氏ハ昭和九年十二月一日辭職シタルニ付副大統領ホセ、ルイス、テハーダ、ソルサーノ氏憲法ノ規定ニ從ヒ同日大統領ニ就任セリ

觀象

◎全國氣象表（正午觀測）

（備考）　氣温ノ第一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ハ當日午前六時ヨリ翌日午前六時迄ノ總量ナリ

二月二十八日

地名	氣壓（粍）	風向	風速（米）	氣温（攝氏）	天氣	降水量（粍）
臺北	763.9	東	4	15	雨	15
那覇	761.8	北北東	4	20	曇	—
鹿兒島	761.8	北北西	3	17	快晴	—
高知	760.4	南東	2	17	晴	—
大分	761.4	靜穩	1	15	薄曇	—
多度津	761.1	西北西	3	12	快晴	—
廣島	762.0	靜穩	1	10	曇	—
大阪	760.4	南西	5	13	快晴	—
長崎	762.2	西北西	4	15	晴	—
福岡	762.3	北	4	14	晴	1
濱田	761.0	南西	4	13	煙霧	3
名古屋	759.4	北西	5	15	快晴	—
橫濱	757.9	南東	3	12	快晴	—
東京	757.8	西北西	3	15	快晴	1
銚子	758.1	北東	2	10	快晴	3
長野	759.0	東	3	10	晴	—
前橋	757.7	北	5	14	快晴	—
宇都宮	757.6	南	2	13	快晴	1
福島	758.1	北西	6	12	晴	—
福井	760.8	北東	2	12	晴	1
新潟	759.9	西北西	2	10	快晴	—
秋田	759.1	西南西	6	6	曇	—
石卷	757.3	西北西	5	10	晴	—
盛岡	757.5	西南西	6	8	曇	—
青森	757.5	靜穩	0	5	雨	5
函館	757.4	東南東	5	5	雨	8
札幌	758.0	靜穩	0	3	雨	7
旭川	757.7	北	2	2	雪	2
根室	757.0	北東	4	2	曇	—
大泊	760.0	北西	6	−2	曇	—
釜山	761.2	南西	3	14	快晴	—
仁川	761.7	南南西	5	4	雨	1
元山	758.2	西南西	5	10	晴	—
城津	758.2	靜穩	1	1	霧	4
新義州	762.4	北西	5	5	快晴	—

第2448号　本文

第2448号 本文

種類	番號	氏名	本籍	住所	使用シ得ヘキ航空機	制限事項	交付月日
同右	一五八	赤井　弘明	福島市荒町五九番地				同右
同右	一五九	本多　文治	長崎縣南高來郡南有馬町丙三三九番地ノ一				同右
同右	一六〇	河村　吉文	東京市牛込區新小川町一丁目五番地				同右
一等飛行機操縱士免狀	三〇一	小阪　禪令	三重縣鈴鹿郡神邊村大字布氣一三〇九番地ノ一	愛知縣東春日井郡守山町大字小幡名古屋飛行學校寄宿舍	アブロ式五〇四K型、アンリオ式二八型、三式陸上機、三菱式R一型、二型、三菱式R二型、一三型、三式陸上機、三菱式T一型、二型、三菱式T一、二型改造、ニユーポール式八一型、ニユーポール式二四型		一、一五
同右	三〇二	寺川　健翊	廣島市尾長町五七二番地	岡崎市杜町字下荒子一番地ノ一	アブロ式五〇四K型、アンリオ式二八型、三式陸上機、三菱式R一型、二型、三菱式R二型、一三型、九〇式練習戰鬪機、三菱式T一型、二型、三菱式T一、二型改造、中島式P一型、ニユーポール式二四型		同右
二等飛行機操縱士免狀	四五八	阿部　己則	德島縣那賀郡福井村大字下福井字馬路一一〇番地ノ二	大阪府中河內郡盾津村本庄國粹義勇飛行隊	アンリオ式二八型アブロ式五〇四K型	曲技ヲ行フコトヲ得ス作業用飛行機ヲ操縱スルコトヲ得	同右
同右	四五九	高橋宗三郎	廣島縣深安郡下岩成村一〇六番地	同右	同右	同右	同右
同右	四六〇	瀨川　欣宣	神戶市林田區大塚町三丁目二番地	神戶市林田區長田町五丁目九番地	同右	同右	同右
同右	四六一	石田　和天	岡山縣苫田郡久田村大字黑木第一八四六番地	大阪府中河內郡盾津村本庄國粹義勇飛行隊	同右	同右	同右
同右	四六二	末永　規市	富山縣射水郡小杉町戶破六二三二番地	同右	同右	同右	同右
同右	四六三	李　永三	朝鮮慶尙南道宜寧郡嘉禮面加禮里四四一番地	岐阜縣稻葉郡蘇原村三柿野八九八番地各務原高等飛行學校	アンリオ式二八型	同右	同右
同右	四六四	岡　信男	岡山縣赤磐郡高陽村大字下市六一二番地	堺市大濱南新公園第一番地日本航空輸送研究所	ハンザ式單葉水上機	同右	同右
同右	四六五	桑本廉之助	鳥取縣東伯郡八橋町大字保五四番地	大阪府中河內郡盾津村本庄國粹義勇飛行隊	アンリオ式二八型、アブロ式五〇四K型	同右	同右
同右	四六六	富山　一男	愛媛縣越智郡波方村大字樋口甲一八九五番地	堺市大濱南新公園第一番地日本航空輸送研究所	ハンザ式單葉水上機	同右	同右
同右	四六七	岡　嘉吉	熊本縣球磨郡人吉町大字九日町一五番地	大阪府中河內郡盾津村本庄國粹義勇飛行隊	アンリオ式二八型、アブロ式五〇四K型	同右	同右
同右	四六八	勝部　良三	島根縣簸川郡遙堪村大字遙堪一〇四九番地	堺市大濱南新公園第一番地日本航空輸送研究所	ハンザ式單葉水上機	同右	同右
同右	四六九	森本直一郎	大阪市此花區上福島中二丁目一番地	同上	アンリオ式二八型	同右	同右
同右	四七〇	河端　福馬	愛媛縣新居郡西條町大字下島山一八五二番地	東京市城東區北砂町四丁目一二八四番地三浦久市方	アブロ式五〇四K型	同右	同右
同右	四七一	中島　康雄	東京府南多摩郡堺村小山三六三九番地	同上	同右	同右	同右
同右	四七二	服部　良司	靜岡縣小笠郡掛川町大池三八八番地	東京市杉並區宿町二三二番地飯沼金太郎方	アブロ式五〇四K型、アンリオ式二八型	同右	同右
同右	四七三	久田　壽夫	埼玉縣北葛飾郡幸手町大字幸手二番地	千葉縣千葉郡津田沼町鷺沼一四四〇番地	同右	同右	同右
同右	四七四	北澤　重雄	滋賀縣犬上郡福滿村大字小泉一五番屋敷	東京市蒲田區蒲田町一四〇〇番地元橋春方	同右	同右	一、一八
同右	四七五	矢倉　憲	鳥取縣西伯郡和田村三四二一番地	同市同區新宿町一〇番地日本飛行學校	同右	同右	一、二三

種類	番號	氏名	本籍	住所	交付月日
二等航空士免狀	二八四	池島　鹿治	兵庫縣印南郡東志方村高畑四二三番地	清水市三保ノ松原二二〇〇番地	一、一五

種類	番號	氏名	本籍	住所	交付月日
同右	二八五	田中　武雄	山口縣玖珂郡高森町大字田尻第四四二番地	堺市大濱南新公園第一番地日本航空輸送研究所	一、一八
航空機機關士免狀	一二一	佐藤　勝平	熊本縣阿蘇郡馬見原町大字長崎一〇八番地	東京市杉並區宿町亞細亞航空機關學校	一、二二

◎購買入札

一、購買物件　大豆
二、數量　六〇、〇〇〇瓩
三、持込場所　當支部本廐
四、持込期限　本月三十一日
五、購買品規格其他ノ公示書類ハ當支部ニ在リ
六、入札日時及場所　本月十一日午前十一時、即時開札、當支部
七、入札保證金　各自見積金額ノ百分ノ五以上
八、入札者資格　大正十一年大藏省令第三十三號ノ資格證明ヲ要ス

昭和十年三月四日　軍馬補充部雄基支部

一杉板以下二廉
一履行期限　本年三月二十五日
一入札竝開札　本月九日午前十時入札、即時開札
一入札場所　當部
一公示書類　當部ニテ熟覽ノコト
一入札保證金　見積價格ノ百分ノ五以上(圓未滿切上ク)
一契約保證金　契約代價ノ百分ノ十以上(同上)
一入札者資格　大正十一年四月大藏省令第三十三號ノ資格アル者

昭和十年三月四日　橫須賀海軍軍需部

◎購買入札公告取消

去月二十八日本欄內揭載當部購買入札公告ハ都合ニ依リ之ヲ取消ス

昭和十年三月四日　軍馬補充部十勝支部

◎賣拂入札

第一號　副生銅(甲)外二點
第二號　革屑(甲)外三點
第三號　副生黃銅(乙)外三點
第四號　副生靑銅(丙)外二點
第五號　置暖爐外四點
第六號　麻布屑外十七點
第七號　帽外十一點
第八號　空罐　二千六百圓
第九號　古鑵外一點
第一〇號　古電球外十二點
第一一號　木屑　一万三千三百瓩
第一二號　鋼屑外一點
第一三號　黑板外十九點

現品熟覽　本月十二日ヨリ二日間　每日午前十時
入札竝開札　本月十四日午前十一時入札、即時開札但シ郵便、電信入札妨ナシ
公示書類　入札心得書、契約書案等當廠會計課ニテ熟覽ノコト
入札場所　當廠會計課
入札保證金　各自見積價格ノ百分ノ十以上(圓未滿切上ク)

昭和十年三月四日　陸軍造兵廠小倉工廠

◎商業登記

◎合資會社(支店設立)
一商號　合資會社柏內洋行
一本店　奉天小西門裡翰墨胡同
一支店　奉天加茂町十三番地
新京北大街
吉林河南街
哈爾濱傅家甸南三道街十四號
安東縣前聚寶街
一目的
一化粧品ノ製造竝ニ販賣
二雜貨及織物販賣
三前項ニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十年一月十五日
一代表社員　柏野菊太郎
一社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任
金二十七萬圓　無限　柏野菊太郎　奉天小西門裡翰墨胡同
金三万圓　有限　內藤喜一　岡山縣兒島郡琴浦町字引網四百七十八番地
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
右昭和十年一月二十四日登記

◎東洋拓殖株式會社(追加)
一第四十一回社債總額ノ內一部償還ニ因リ昭和十年一月二十一日其ノ社債總額ヲ左ノ如ク變更ス
第四十一回社債總額　金二百四万二千圓
右昭和十年二月一日登記

◎株式會社(設立)
一商號　株式會社東亞自動車商會
一本店　哈爾濱八站許公路百十六號
一目的　一日本ゼネラルモータース株式會社特約販賣店業務二物品販賣業代理業問屋業三前記各項ニ附帶スル業務
一設立年月日　昭和九年十二月二十五日
一資本總額　金七万五千圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一公告方法　本店店頭ニ揭示ス
一取締役ノ氏名住所
趙立堂　哈爾濱道裡中國十三道街二十八號
安藤勝吉　哈爾濱埠頭區工廠街三十四號二十八
高井兵三郎　京城府黃金町四丁目二百十八番地ノ一
露口敬三　京城府蓮建洞九十九番地
張壽山　哈爾濱道外正陽街九號
一會社ヲ代表スヘキ取締役　趙立堂、安藤勝吉
一監査役ノ氏名住所
樋口虎三　朝鮮群山府曙町四十九番地ノ二
城戶小三郎　哈爾濱南崗龍江街二十一號
一存立時期　設立ノ日ヨリ滿五十箇年
右昭和十年二月五日登記

◎支配人(選任)
一支配人ノ氏名住所　山田英吉　滿洲帝國哈爾濱市埠頭區キタイスカヤ街百五十九號
一主人ノ氏名住所　大滿洲國忽布麥酒株式會社　滿洲帝國哈爾濱市埠頭區キタイスカヤ街百五十九號
一支配人ヲ置キタル場所　滿洲帝國哈爾濱市埠頭區キタイスカヤ街百五十九號
右昭和十年二月六日登記

◎株式會社哈爾濱座(變更)
一監査役左ノ者ハ昭和十年二月十四日各重任ス
小笠原新一　哈爾濱埠頭區買賣街五十八號地
松下豐太　同
右昭和十年二月十四日登記
在哈爾濱日本帝國總領事館

◎大平產業株式會社本店移轉
昭和十年一月八日本店ヲ東京市澁谷區穩田一丁目四十番地ヨリ當管內ニ移轉シタルニ因リ左ノ登記ヲ爲ス
一商號　大平產業株式會社
一本店　前橋市相生町八番地
一目的　一硫黃ノ採掘竝ニ販賣二右同事業ニ對スル投資三有價證券ノ取得及金錢貸付四右ニ附帶スル一切ノ業務
一設立ノ年月日　大正十一年十二月一日
一資本ノ總額　金一百万圓
一一株ノ金額　金五十圓
一各株ニ付拂込ミタル株金額　金五十圓
一公告ヲ爲ス方法　本店ノ店頭ニ揭示ス
一取締役ノ氏名住所
有田耕雄　栃木縣足利郡久野村大字野田二百五十九番地
山口重德　高崎市赤坂町十三番地
伊東八郎　東京市牛込區原町二丁目五番地
一會社ヲ代表スヘキ取締役ノ氏名　山口重德
一監査役ノ氏名住所　奥田正澄　神奈川縣愛甲郡依知村大字上依知五十六番地
一存立ノ時期　設立ノ日ヨリ滿二十箇年
昭和十年一月十八日登記
前橋區裁判所

◎合資會社吉野商店變更
昭和十年一月四日總社員ノ同意ニ依リ無限責任社員吉野和三郎ハ出資持分全部ヲ有限責任社員吉野律治郎ヘ讓渡シテ退社シ吉野律治郎ハ之ヲ讓受ケ出資ヲ金九千圓ニ責任ヲ無限ト變更ス
昭和十年一月十七日登記
沼田區裁判所東出張所

◎帝國撚絲織物株式會社社債(支店)
一昭和十年八月八日登記シタル社債總額金六十万圓ヲ昭和十年一月十日全部償還ス
昭和十年一月十六日登記

◎合資會社設立
一商號　關陽織物合資會社
一本店　山田郡川內村大字西小倉二百八十九番地
一目的　人絹織物輸出竝ニ織物製造販賣及ヒ之レニ附帶スル一切ノ業務
一設立年月日　昭和十年一月十五日
一社員ノ氏名住所出資及責任
一金二千圓　無限　關田四十吉　山田郡川內村大字西小倉二百八十九番地
一金一千圓　有限　關根州藏　同郡同村大字山田二百九番地
一金五百圓　有限　關田ひろ　同郡同村大字西小倉二百八十九番地
一金五百圓　有限　關田タケ　同所二百八十九番地
一存立時期　會社設立ノ日ヨリ滿十五箇年

◎株式會社第一銀行變更(支店)
一取締役野口弘毅及監査役西園寺龜次郎ハ昭和十年一月十日辭任ス

◎支配人代理權消滅
一主人ノ氏名住所　矢野久左衞門　滋賀縣蒲生郡日野町大字大窪八百四十六番地
一昭和九年十二月九日支配人矢野由三郎ハ死亡ニ因リ代理權消滅シタリ
昭和十年一月十七日登記
新田區裁判所桐生出張所

第2448号　本文

株式會社三井銀行 第五拾壹期決算公告

貸借對照表（昭和九年拾貳月參拾壹日現在）

負債（貸方）

科目	金額
預金勘定	**七四八、五五六、二八六・五六**
當座預金	七四、二五六、九九〇・六二
特別當座預金	一一二、〇二九、一九〇・四五
通知預金	八五、九二〇、〇二三・五五
定期預金	四七二、四三二、六〇八・一七
雜預金	三、九一七、四七三・七七
外國爲替勘定	**九、四九三、九九二・三四**
賣渡外國爲替	一、〇五三、五六六・七五
外國他店借	八、四四〇、四二五・五九
他店借	**六七三、六二二・八九**
未拂送金爲替	**四二八、七四三・九九**
支拂承諾	**四、七二一、七六一・三六**
雜勘定	**九、八二一、六九〇・八八**
未拂配當金	五、〇五二・六〇
未拂利息其ノ他	七、四九〇、四二六・三〇
未經過割引料其ノ他	一、九四八、五四七・五九
預金利子諸税	一五八、四六七・三二
假受金	二一九、一九七・〇七
株主勘定	**一七六、一二八、七九八・三九**
資本金	一〇〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定準備積立金	三五、七〇〇、〇〇〇・〇〇
別段積立金	一四、五〇〇、〇〇〇・〇〇
配當準備積立金	五、六〇〇、〇〇〇・〇〇
使用人退職慰勞金積立金	四、八五九、九〇六・三二
當期利益金	一五、四六八、八九二・〇七
（內 前期繰越金	一〇、五四八、六七一・一六
使用人退職慰勞金積立金戻入）	三七三、五五四・七六）
合計	**九四九、八二四、八九六・四一**

資産（借方）

科目	金額
現金預ケ金勘定	**五六、六〇八、六九四・八四**
現金	三七、三一四、〇六九・九七
預ケ金	一四、七七九、九二九・六四
（內日本銀行ヘノ預ケ金	一四、一二三、五一〇・五九）
地金銀外國通貨	四、五一四、六九五・二三
コールローン	**三一、五一〇、〇〇〇・〇〇**
有價證券勘定	**三四〇、〇九六、八八二・七三**
國債	一八三、四五五、一四四・七三
（內手許在高	一七〇、八三三、七九四・七三）
地方債	三三、七二一、六六六・七〇
外國證券	一四、四九九、六五〇・三〇
社債	一〇八、〇七〇、四二一・〇〇
株式	三五〇、〇〇〇・〇〇
割引手形勘定	**四一、三八八、六八七・二八**
商業手形	四一、〇三〇、五九九・九八
荷付爲替手形	三五八、〇八七・三〇
貸付金勘定	**三四二、三四五、三三九・八七**
手形貸付	三一七、五七〇、三九一・四四
證書貸付	六、〇四八、四八九・〇三
當座貸越	一八、七二六、四五九・四〇
貸付有價證券	**三、九八〇、九七七・五〇**
外國爲替勘定	**七二、二五四、七八八・〇六**
買入外國爲替	五七、七五九、四五六・二一
利付爲替手形	一一、五一四、八九七・八四
外國他店貸	二、九八〇、四三四・〇一
他店貸	**七四三、七七一・六三**
支拂承諾見返	**四、七二一、七六一・三六**
雜勘定	**二、〇一二、二一五・七四**
新築費	一、五〇四、八六一・〇二
假拂金	五〇七、三五四・七二
動産不動産勘定	**一四、二六一、七七七・四〇**
營業用土地建物什器	一二、五八一、四九五・五九
所有動産不動産	一、六八〇、二八一・八一
株主勘定	**四〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇**
拂込未濟資本金	四〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
合計	**九四九、八二四、八九六・四一**

利益金處分

當期利益金　一五、四六八、八九二・〇七

之ヲ處分スルコト左ノ如シ

科目	金額
法定準備金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
使用人退職慰勞金積立金	五七九、一〇〇・〇〇
重役賞與金	二八〇、〇〇〇・〇〇
配當金（舊株式壹株ニ付金四圓 新株式壹株ニ付金貳圓 年八分ノ割）	二、四〇〇、〇〇〇・〇〇
後期繰越金	一一、二〇九、七九二・〇七

昭和拾年參月壹日

東京市日本橋區室町貳丁目壹番地

株式會社三井銀行

取締役會長　菊本直次郎
常務取締役　今井利喜三郎
常務取締役　見城重平
常務取締役　万代順四郎
取締役　池田成彬
取締役　男爵　三井高精
取締役　井坂孝
取締役　原邦造
取締役　小池正彪
取締役　岸本兼太郎
取締役　江藤得三
常任監査役　下田守藏
常任監査役　外山知三
監査役　大橋新太郎
監査役　三井高長

專賣特許
實用新案登錄

千代田無藥自働消火器

多少ニ不拘御用命ヲ乞フ
御申越次第型錄送呈

宮內省御用

東京市麴町區麴町貳丁目七番地
製造發賣元　千代田工業所
電話九段(33)三二五七番

專賣特許　統計表示器　リボン式

專賣特許第七六五五七號　實用新案第一九〇七〇五號

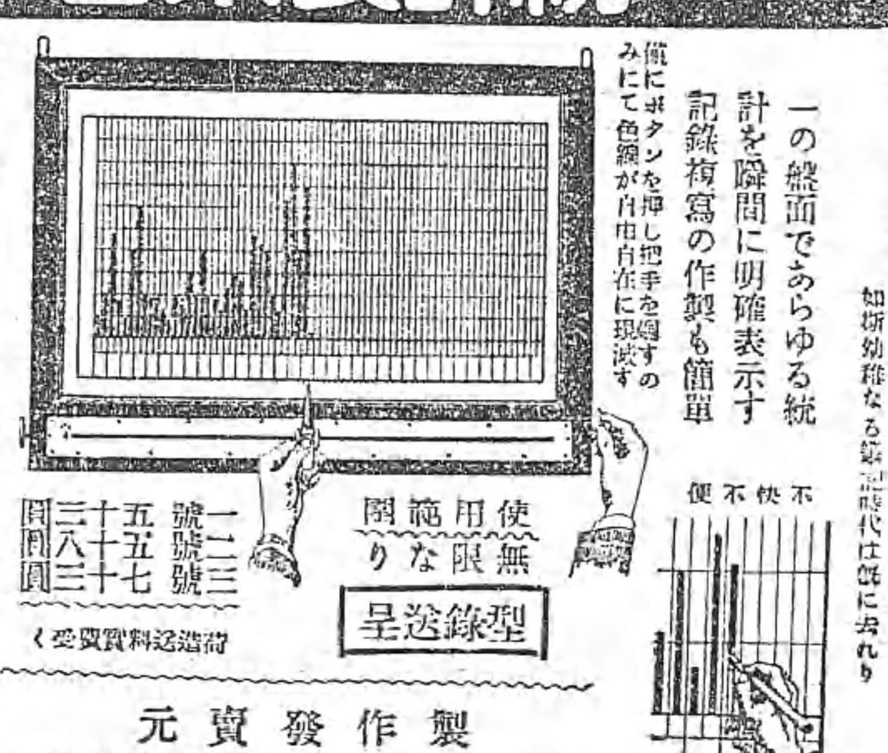
能率增進文化の利器

如斯幼稚なる統計時代は既に去れり

一の盤面であらゆる統計を瞬間に明確表示す

記錄複寫の作製も簡單

備にボタンを押し把手を廻すのみにて色線が自由自在に現滅す



凡ての統計表示に將來の如き煩雜なる手數を不要瞬間に其使命を果し永久の使用に堪へ使用又極めて簡單
御使用者より讃辭多大官公衙學校銀行會社商店殊に工場等は部分品在高を常に明確に表示等本器御利用
收益增加のため今直に型錄請求御研究急務ならずや
現に使用中の各位は日日收益增大廣島遞信局は百五十五臺御採用

一號　二號　三號　[illegible]

型錄送呈（荷造送料實費受く）

製作發賣元　廣業社
東京市神田區神保町一の三五
電話神田一一三三

高文、普文及學生受驗者の必讀書

第七卷第三號（第五一號）三月一日號　每月一日、十五日二回發行

國家試驗

定價金五十錢　送料二錢

▲橫領罪と背任罪　東京帝國大學教授法學博士牧野英一▲外國人及外國法人の地位　法學博士松原一雄▲刑訴公判準備手續　大審院判事坂本英雄▲既登記の賃借人と競賣法第二十七條の解釋　辯護士山口與八郎▲民事判決書解說　東京地方裁判所判事林徹

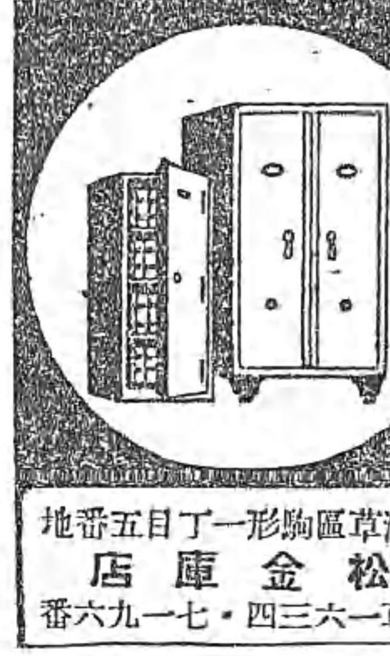
昭和九年高文各科體驗記

▲高等試驗行政科受驗記稻垣由吉▲同口述試驗問答記同▲高等試驗行政科受驗記佐々木吉友▲司法科口述試驗體驗記山田正一▲司法科口述試驗記小西茂▲司法科受驗體驗記石倉彌太郎▲行政科受驗記KY生▲受驗準備法北山吉郎▲刑法東京地方裁判所判事坂本英雄▲刑事訴訟法同▲刑事政策同▲憲法東京地方裁判所判事野間繁▲民法同▲商法同▲民事訴訟法同▲憲法一憲法施行區域を論ず二內閣と議會との關係を論ず猪俣勝太郎▲憲法同能谷次吉▲商法一支配人の權限を論ず二保險契約の特異性を論ず猪俣勝太郎▲民法一損害賠償額の豫定を說明せよ二小作契約の性質を論ず能谷次吉▲民法同（佳良答案）某▲民事訴訟法一第二十一條を說明せよ（佳良答案）二裁判外の自白の訴訟法上の效力を說明せよ某▲高等試驗（行政科、外交科、司法科）公告▲質疑應答▲法律顧問

● 東京本郷森川町　帝大正門前　育成洞　電話小石川(85)七八一　振替東京一七三三四

安全確實

平松金庫



輕量金庫　耐火書庫　鋼鐵書箱

型錄送呈

東京市淺草區駒形一丁目五番地
平松金庫店
電話淺草一六三四・一七九六番

天幕シート

營業品目
天幕、雨覆、雨衣、雜囊類
窓掛、日除、其他加工品販賣竝裁縫請負
麻帆布、ダック、リンネル類
麻糸、玉糸、布ホース、杉綾紐
黃麻帆布、ヘレアン、縫糸類
綿帆布染色防水布卸小賣商

諸官省御用達

帝國製麻株式會社　小泉製麻株式會社　特約販賣店

東京市京橋區木挽町二ノ四
小林半之助商店
電話京橋(56)長六三五六

營業種目　各種レール　鐵道諸材料

東京市日本橋區江戸橋三ノ五
合資會社　五十嵐商店
電話日本橋(長)一、〇九三　二五九

出張所　八幡市園田町一　電話八幡(長)六四
駐在員　札幌市北四條西二丁目一番地　電話札幌四九五番

型錄。商報。進呈

第十八回決算公告

貸借對照表（昭和九年十二月三十一日）

資産

科目	金額
未拂込株金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
現金	四、〇四六・一五
郵便振替貯金	九三・九八
銀行預金	一〇六、八九七・七七
有價證券	二九七、一六六・〇〇
什器	一、〇〇〇・〇〇
未收保險料	四七四、九五四・一五
借家敷金	七七一・〇〇
大日本火災保險協會供託金	九、三二二・二六
未收拂込金	三九六、七五〇・〇〇
損失金	一、一〇九、〇五三・六五
合計	三、四〇〇、〇五四・九六

負債

科目	金額
株金	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
未拂解約返戻金	三八三、一七八・八九
支拂備金	九六一、八二七・五六
退職手當金引當	五〇、〇〇〇・〇〇
社員積立金	一、八九七・四六
未拂配當金	二、一〇一・〇五
未拂金	一、〇五〇・〇〇
合計	三、四〇〇、〇五四・九六

右公告候也

昭和十年二月

日章火災海上再保險株式會社

カバン專門

東京市芝區田村町一丁目（舊芝區櫻田本鄉町角）
鈴木カバン店

徽章
校徽章マークメダル
東亞徽章製作所
東京市京橋二丁目三
電話銀座三百六十番

株式會社臺灣銀行 第七十一回決算公告

貸借對照表（昭和九年下半季）

負債

科目	金額
資本金	一五、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸準備金及積立金	[illegible]
銀行券	[illegible]
諸預金	[illegible]
政府預入金	[illegible]
諸借入金	[illegible]
再割引手形	[illegible]
別途借入金	[illegible]
代理借入金	[illegible]
支拂承諾	[illegible]
有價證券借入	[illegible]
他店借	[illegible]
假受金	[illegible]
支拂未濟配當金	[illegible]
當期利益金	[illegible]
總計	[illegible]

資産

科目	金額
拂込未濟資本金	一、八七五、〇〇〇・〇〇
諸貸出金	[illegible]
利付爲替手形	[illegible]
買入爲替	[illegible]
別途貸付	[illegible]
代理貸付	[illegible]
支拂承諾見返	[illegible]
預ケ金	[illegible]
他店貸	[illegible]
諸有價證券	[illegible]
營業用所有動産不動産	[illegible]
假拂金	[illegible]
地金銀	[illegible]
金銀在高	[illegible]
總計	[illegible]

損益勘定

科目	金額
當期總益金	[illegible]
當期總損金	[illegible]
差引	[illegible]
內 所有物償却金	[illegible]
當期純益金	[illegible]
前期繰越金	[illegible]
合計	[illegible]

右當期利益金ヲ分配スルコト左ノ如シ

科目	金額
缺損補塡準備金	[illegible]
配當平均準備金	[illegible]
特別積立金	[illegible]
賞與金	[illegible]
配當金（年參分）	[illegible]
後期繰越金	[illegible]

昭和十年三月

株式會社臺灣銀行

謄寫版原紙

優秀無比の製品
岐阜市上材木町
大日本製紙原紙加工部

第2448号　本文

公法雜誌

佐々木惣一博士編輯　毎月一回五日發行　三月號出來　一冊五拾錢　郵稅壹錢半　半年參圓　一年六圓

論苑
統制經濟の法理學……中島　重
憲法第三條解釋の一異說……吉田一枝
朝鮮統治法の特徵……松岡修太郎
國體協約の二個の獨裁……具島兼三郎
集錄
徳川慶喜と英國議會制度……淺井　清
一九二四のボーランド憲法案……森　順次
講座
法の本質（第三講）……恒藤　恭
財務行政法（第三講）……佐々木惣一
演習
豫備費と追加豫算……佐々木惣一
市町村長選舉の瑕疵……佐々木惣一
判例解評―市制・町村制（佐々木）……地方制（大石）（後）
書作紹介―學會消息（京大・佐々木・大・堀大・京大其の研究會）

自治研究

毎月一回五日發行　三月號一冊四拾錢　一年（前金）四圓八拾錢

産業の合理化と法律
……牧野英一博士
少年教護法の實施に就いて……藤野司書記官
農山漁村經濟更生計畫樹立の必要に付て……永松農林書記官
新潟及山形縣地方に於ける青田賣買の實狀……山本農林省囑託
農山漁村の金融と産業組合……南　産業組合中央金庫理事
（研究）
議會か獨裁か……武若內務事務官
（資料）
新法令の解說―主要公示訓令通牒―行政實例―行政判例―訴願裁決例―自治彙報―質疑（回答）……擔當者（坂本內務屬　谷口內務屬）

附錄　第十卷總索引（下）

警察研究

毎月一回五日發行　三月號一冊四拾錢　一年（前金）四圓五拾錢

刑法改正案論評（三）
……牧野英一博士
獨逸に於ける刑事訴訟法改正の動向……池田司法書記官
選舉詐僞登錄罪の本質……齋藤司法書記官
肅正の爲の選舉運動取締（四）……小林內務事務官
市街地建築物法令の改正（一）……中島內務事務官
自動車運轉手の適性檢査……淡路圓治郎博士
獨裁政府沒落と共和革命進展……宮野　彬　書記官
（資料）
新法令の研究―訓令通牒警察關係判例―質疑應答……擔當者（種村內務屬　松尾內務屬）

〔圖書目錄〕進呈　發行所　東京小石川區江戸川町　振替東京六四四九番　良書普及會　電話小石川（1035）（5193）（5199）
明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可　◎號外一昨一日發行通記錄（代）第二一號　一二頁◎昨三日發行同（其）第一三號四頁
定價　一ヶ月　九十五錢　一部　五錢　一圓八十錢（外國郵便ニ八錢ヲ要ス）各送料共
廣告料　本誌會　六號一行　三十錢　五號五錢圓號十錢增　一般廣告　六號十四字詰一行　二十五錢
發行所　東京市麹町區六番町　內閣印刷局
電話番町（代）第五三〇五番　振替東京一九〇〇五番

募集人員
募生徒集
市立　横濱商業專門學校

第一學年第一部約百名　第二部約五十名

◎本校ハ一般高等商業學校ノ課程ノ外（外國貿易及語學ニ主カヲ注グヲ特色トス）（規則及出願用紙ハ二錢切手封入申込次第郵送）

試驗日期

日	曜	第一部（中學校出身者）	第二部（商業學校出身者）
三月廿四日	日	英文和譯	英文和譯
		國語漢文	國語漢文
三月廿五日	月	代數	商業簿記
		日本歷史	日本歷史
三月廿六日	火	身體檢查	身體檢查
		口頭試問	口頭試問

○無試驗檢定
中學校又ハ甲種商業學校卒業者ニシテ在學中第三、四學年引續キ級席次全數ノ五分ノ一以上ニシテ卒業成績全數ノ十分ノ一以上ニアル者ハ體格出身學校ノ學業成績及履歷ヲ考査シテ入學ヲ許可スルコトアルベシ

電話長者町㊀〇六七三番
橫濱市中區南太田町
市電弘明寺線宮元町一丁目下車西へ二丁
乘合自動車弘明寺線ニテ本校前下車
湘南電鐵南太田下車南へ二丁

化械機の版寫謄
機寫謄ヤーロル

御想像下さい！
この最新型壹台がどんな働きするか？
机上の一隅より任意の印刷……
凡ゆるオフィスの能率へ
快よい回轉を傳へる
ローヤル輪轉機

カタログ進呈

會商機寫謄轉輪ヤーロル
本社　東京神田小川町（電停前）
電話　田神（二二一）　〇一五五番
　　三（六六五一）　番番

（本書ノ大サハ既定規格A4判）

許可 2448 印刷